

# 令和7年度岩手県海岸漂着物対策推進協議会

日時：令和8年1月7日(水) 10:00～

会場：岩手県議会棟1階 大会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 事例発表

漂着ゴミ回収ネットワーク 加藤 昭一 代表

「漂着ゴミ回収ネットワークの取組と回収したゴミの組成データの紹介」

### 4 議事

- (1) 令和6年度における海岸漂着物等のモニタリング調査結果について
- (2) 令和6年度及び令和7年度における海岸漂着物対策の取組状況について
- (3) 今後の取組方針について

### 5 その他

### 6 閉 会

#### 【資料】

事例発表「漂着ゴミ回収ネットワークの取組と回収したゴミの組成データの紹介」

資料1 岩手県における海岸漂着物のモニタリング実施状況

資料2 岩手県の海岸漂着物対策の取組状況

資料3 県内の海洋ごみ回収活動（ごみ拾い等清掃活動）に係る状況

資料4 海岸漂着物等地域対策推進事業について

資料4別紙1 清掃活動見える化アプリminoruイワテポスター

資料4別紙2 岩手県漁業者向け海洋プラ流出防止啓発チラシ

資料5 海岸漂着物対策の今後の取組方針について

参考資料1 岩手県海岸漂着物対策推進協議会 設置要綱

参考資料2 岩手県海岸漂着物対策推進地域計画の概要

# 【出席者名簿】

	所 属	役 職	委員名	備 考
学識経験者	岩手県立大学研究・地域連携本部	名誉教授	渋谷晃太郎	
	東京大学大気海洋研究所	准教授	早川 淳	オンライン
住民及び民間の 団体	一般社団法人いわて流域ネットワーク	代表理事	内田 尚宏	
	一般社団法人岩手県工業クラブ	専務理事	山本 亮	
	岩手県漁業協同組合連合会	専務理事	佐々木安彦	
	岩手県商工会議所連合会	専務理事	工藤 直樹	
	岩手県商工会連合会	専務理事	宗形 金吉	
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	営農支援部長	信田 陽一	
	特定非営利活動法人浄土ヶ浜ネイチャーガイド	代表	鈴木 和昌	
関係行政機関	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所河川管理課	建設専門官	井戸 喜六	オンライン（代理）
	海上保安庁第二管区海上保安本部 釜石海上保安部警備救難課	課長	池田 隆	欠席
	環境省東北地方環境事務所 環境対策課	課長	杉山 直樹	オンライン
地方公共団体等	宮古市市民生活部市民協働課	課長	和美 邦彦	オンライン
	大船渡市市民生活部市民環境課	主幹	金野 久志	オンライン（代理）
	久慈市生活福祉部生活環境課	課長	大沢 義時	オンライン
	釜石市市民生活部環境課	課長	二本松史敏	欠席
	岩手県市町村清掃協議会 (盛岡市環境部廃棄物対策課)	課長	南幅 嘉人	

# 【事例発表者・オブザーバー】

漂着ゴミ回収ネットワーク	代表	加藤 昭一	
--------------	----	-------	--

# 【事務局】

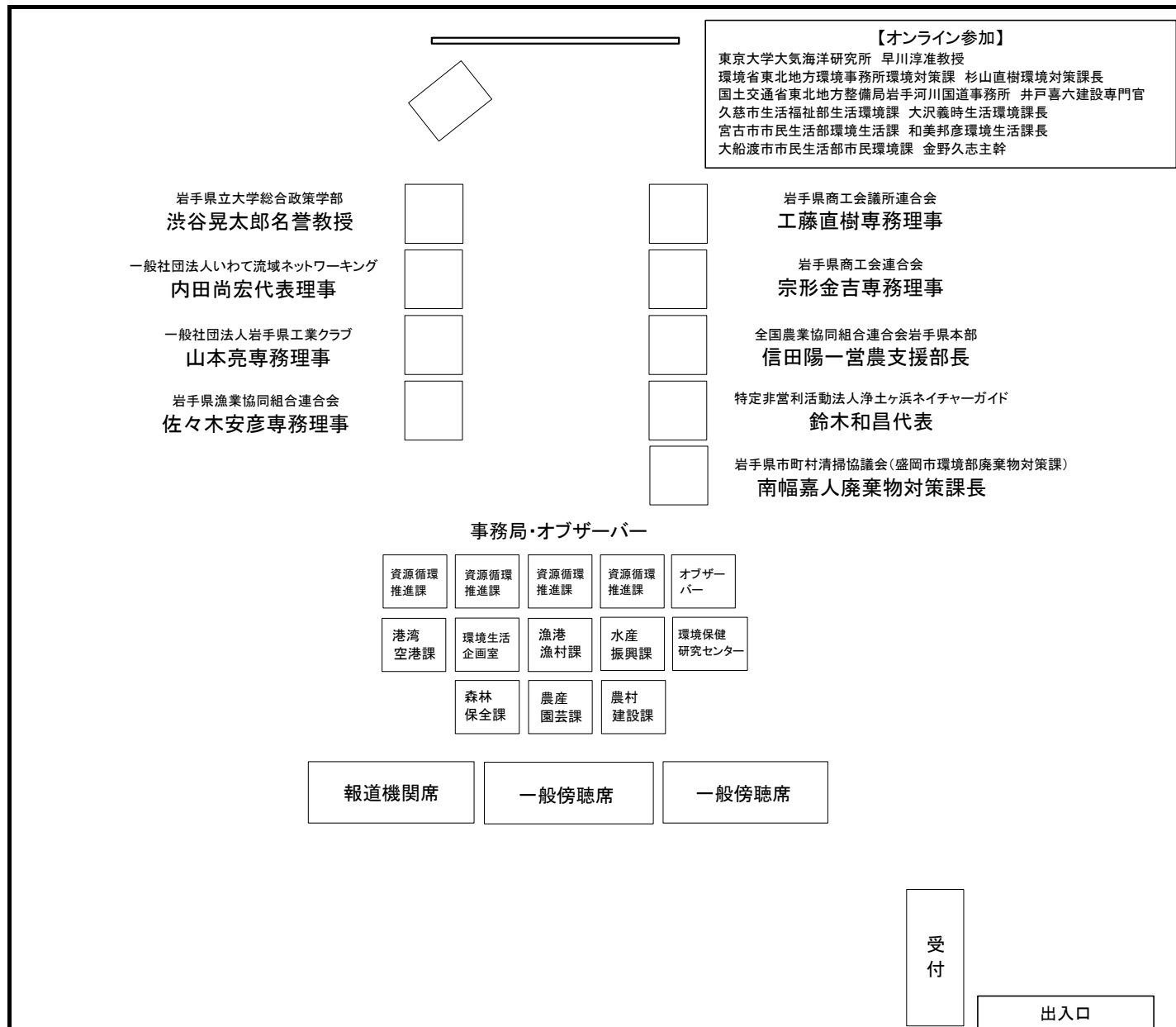
岩手県	環境生活部	環境生活企画室	主任	吉田 拓司	企画課長代理
		資源循環推進課	総括課長	古澤 勉	
	農林水産部	農村建設課	水利整備・管理担当課長	佐々木伸吾	
		農産園芸課	園芸特産担当課長	藤沢 哲也	
		森林保全課	技術主幹兼保全・治山林道担当課長	栗田 哲児	
		水産振興課	主任行政専門員	五十嵐和昭	振興担当課長代理
		漁港漁村課	漁港担当課長	佐野 一也	
	県土整備部	河川課	河川海岸担当課長	柴田 秀則	欠席
		港湾空港課	整備担当課長	阿部 貴之	

岩手県	環境生活部	資源循環推進課	資源循環担当課長	本正 義則	
			主任主査	川又 康明	
			主査	佐藤 尊秀	
			主事	松森 彩花	
			主事	戸草 友里	
		環境保健研究センター	主任専門研究員	小澤 慶一	

# 令和7年度岩手県海岸漂着物対策推進協議会 座席表

日時:令和8年1月7日(水) 10:00～

会場:岩手県議会棟1階 大会議室



## 漂着ゴミ回収ネットワークの取組と 回収したゴミの組成データの紹介

漂着ゴミ回収ネットワーク 代表 加藤 昭一



# 発表内容

---

- 1 はじめに
- 2 活動内容の紹介
- 3 漂着ゴミ回収データ
- 4 活動を通じて感じたこと
- 5 最後に

# 1 はじめに

## 漂着ゴミ回収ネットワークとは

シーカヤックを楽しみながら海岸漂着ごみを回収している市民活動組織です。

海洋プラスチック汚染の軽減を目的に、ボランティア4原則（無償性・社会性・主体性・創造性／先駆性）にこだわって活動しています。

漂着ごみの観察・回収体験や漂着物作品展なども行って汚染問題の啓発にも取り組んでいます。



## 2 活動内容の紹介



漂着ゴミ回収ネットワークの原点は、動力船では上陸が難しく、陸からも容易には辿りつけない浜に打ち上げられっぱなしになっていた海洋ゴミ。



## 2 - 1 回収したごみの運搬の様子



シーカヤックを楽しむついでに、風いでいればどこにでも上陸できるシーカヤックならではの環境活動として回収していましたが・・・



## 2 - 2 素通りしていた浜も気になり



コツコツ拾っていたら車で素通りしていた浜のごみが目につくようになり、  
拾った分だけ海洋プラスチック汚染を減らせると唱えながら・・・



## 2 - 3 誰でも海洋ごみを拾える仕組みづくりの実証実験



海岸の清掃活動などで関心をもった人や浜を訪れた人が気軽に拾える仕組みがあればもっと減らせると思いつき・・・  
海岸管理者から了承を受けた上で回収用の網袋を試験的に設置しています。



## 2 - 4 分別・計量作業



漁業系		生活系		計量	事業系
可燃	17.0kg	可燃	13.4kg	91 23 22	可燃
不燃	4.9kg (30)	燃包	0.7kg		11.4kg
燃包	4.6kg			海外 4	2025.12月 掘内
ロープ	24.0kg				
アミ	9.6kg				
不燃	4.1kg	不燃	11.0kg	ビン 3.2kg	不燃
		燃包	1.7kg	アミ	

回収した漂着ごみは実態が見える化するために生活・漁業・その他の事業系に仕分けて種類ごとに計量し、大雑把なデータですがホームページで公開しています。



## 2 - 5 宮古市と連携した海洋ごみの処分



計量し終えた海洋ごみは漁業者に再活用してもらえそうな浮き玉などを除き、宮古市が設置した回収ボックスに入れて処分します。



## 2 - 6 活動が国際交流の場にも



カヤック体験で回収活動に共感した外国人が参加してくれることもあり、  
思いがけず国際交流の場になることも・・・（嬉）



## 2-7 地域の子ども達に自然体験や環境活動の機会を提供



インターネットやゲームが発達し、自然と触れ合うことがめっきり減った子ども達に向けて、シーカヤック体験を開催し、地域の豊かな自然を体で感じてモラル機会を提供しています。



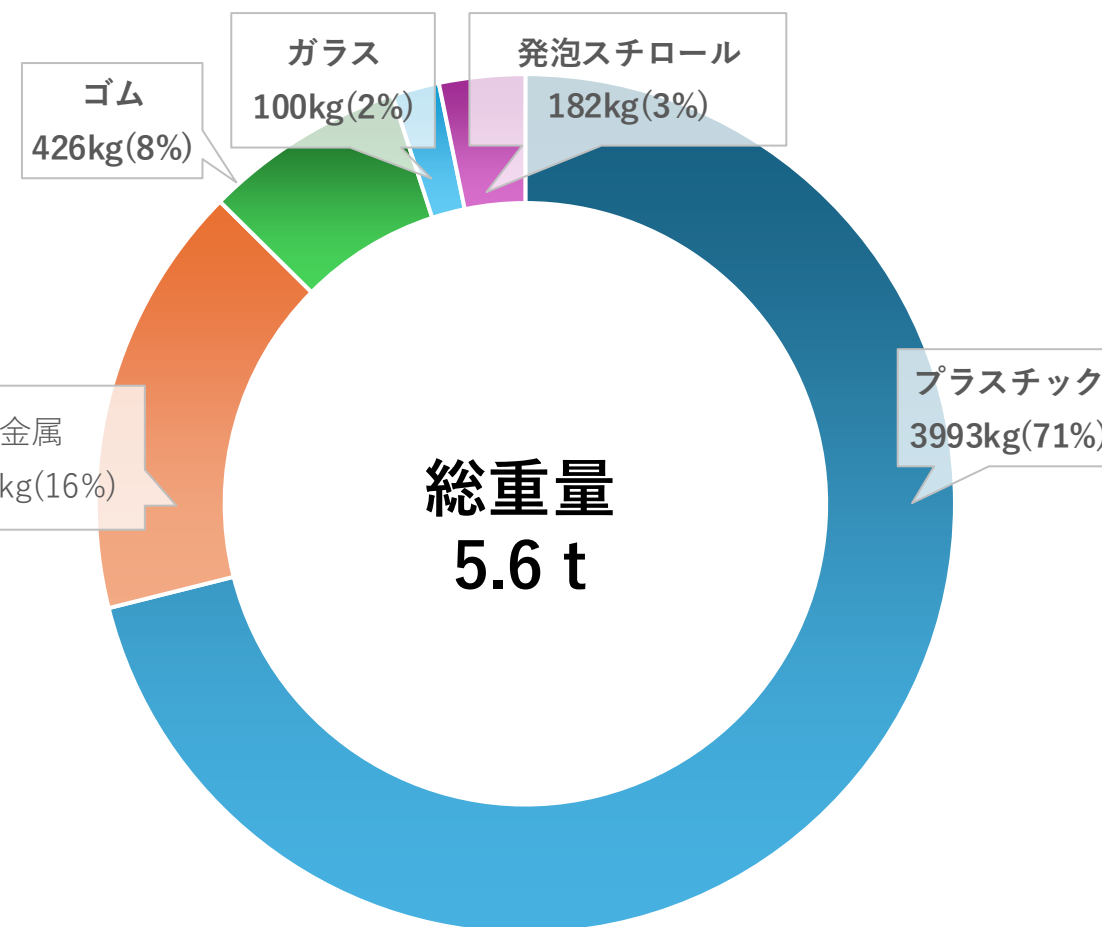
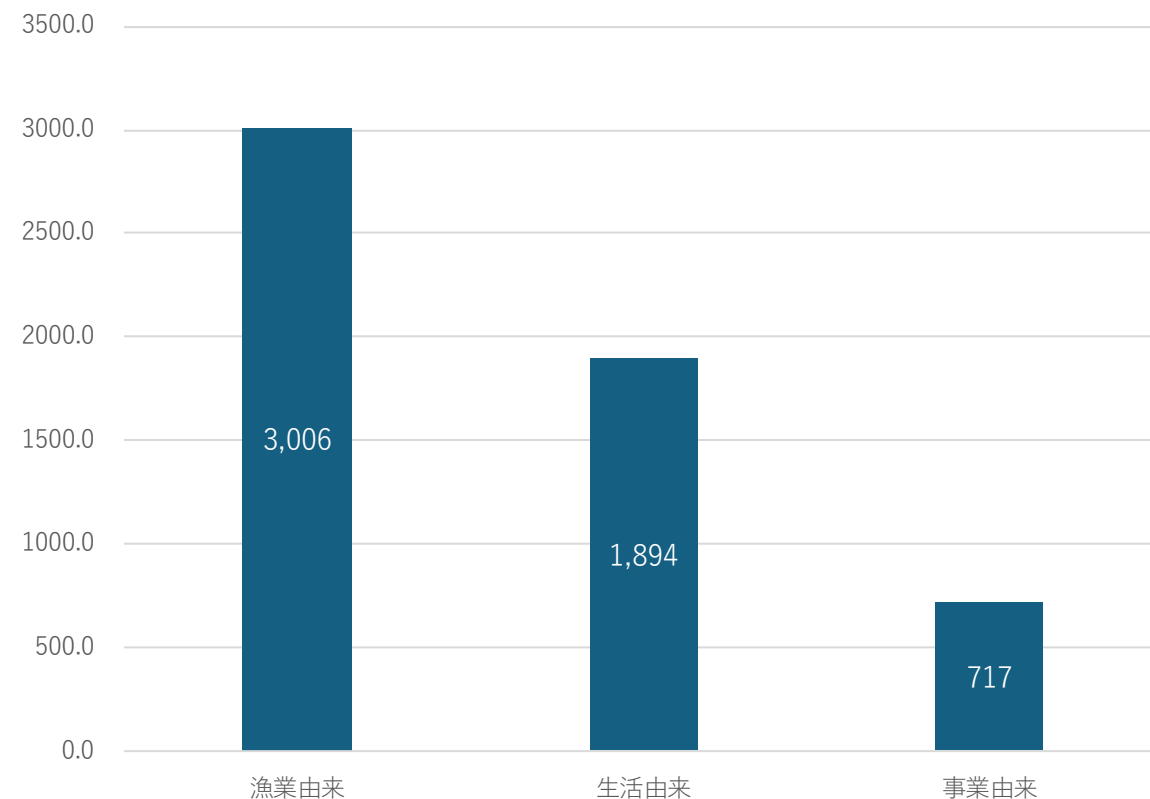
## 2 - 8 海岸漂着物作品展と工作体験



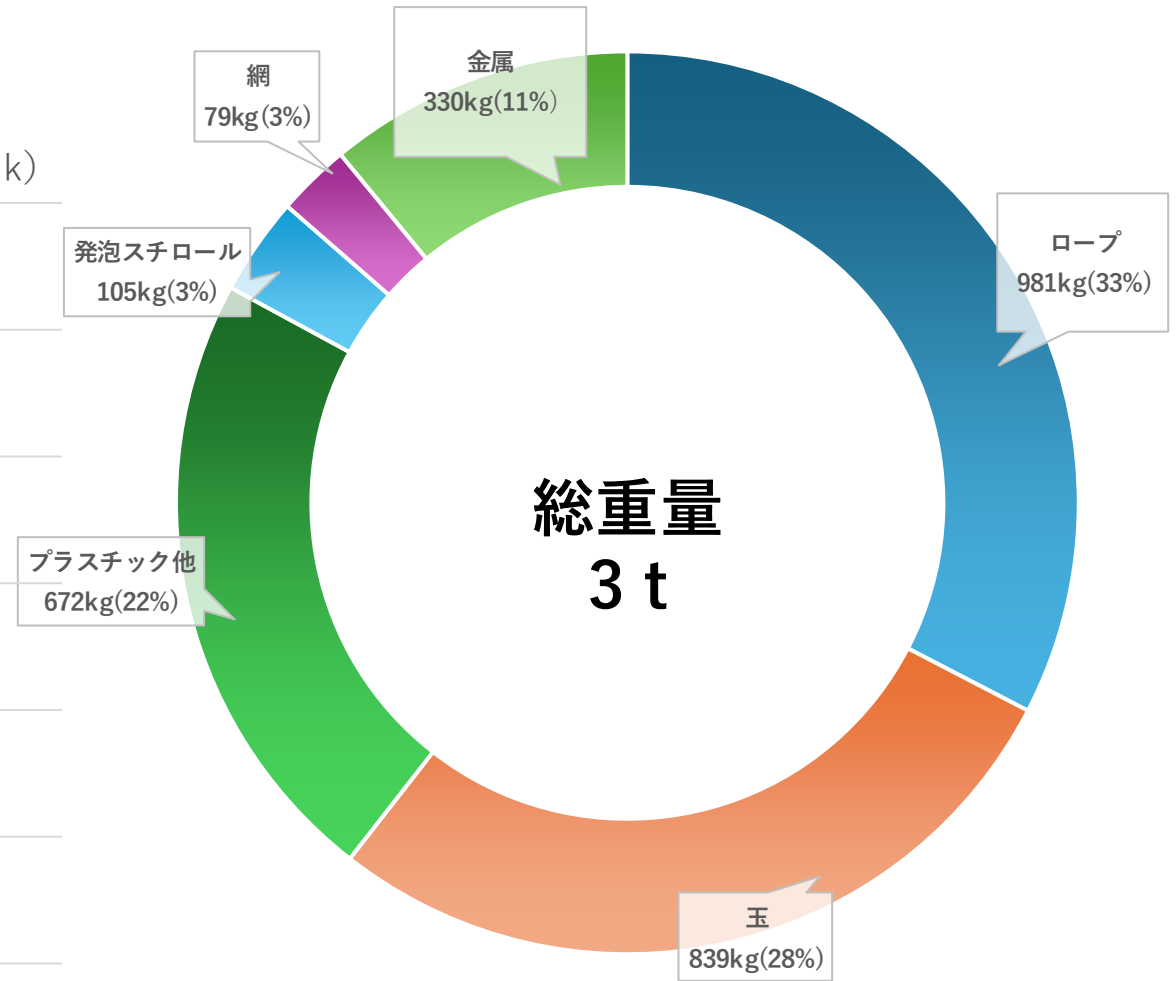
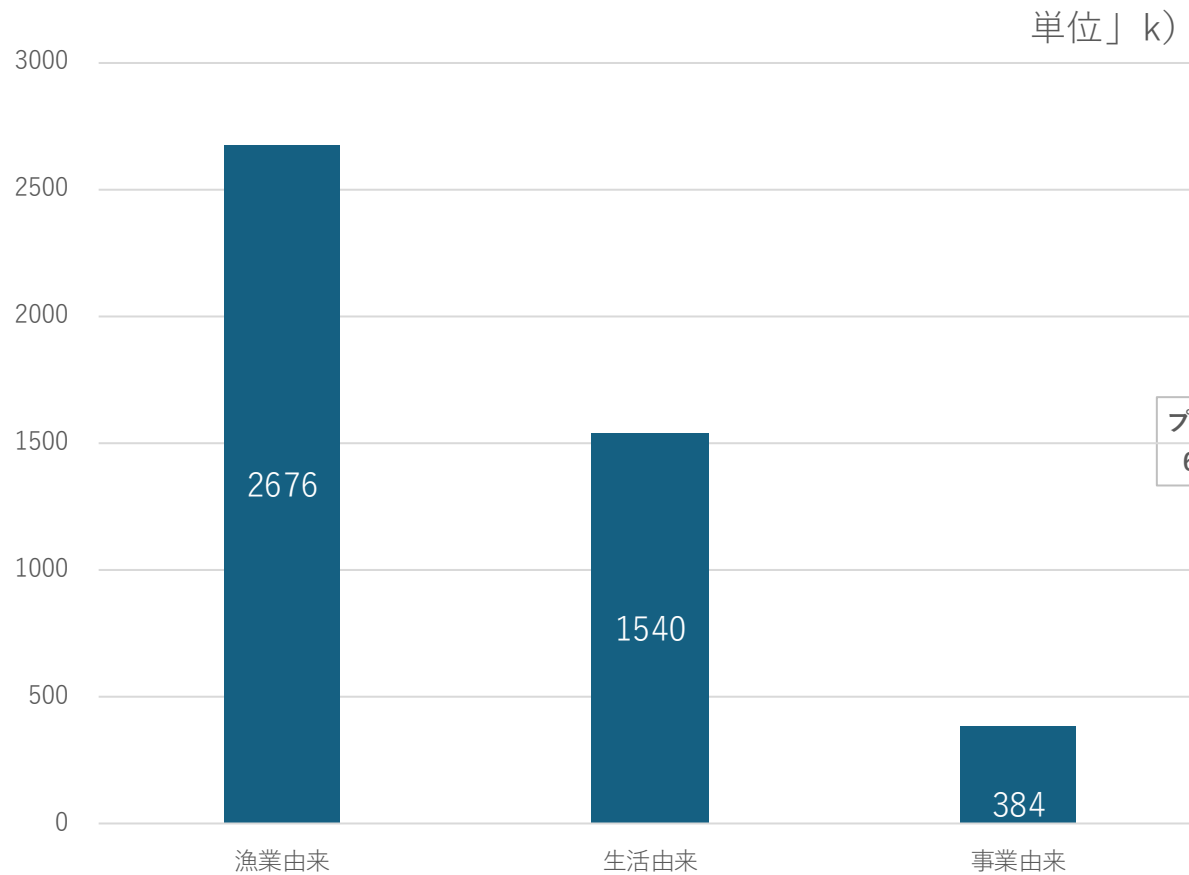
一人でも多くの人に海洋プラスチック汚染問題に関心を持ってもらうために“見ながら学べる作品展”や工作体験を開催しています。浮き球でつくったプランターなどを無料で提供し処理費用削減の試みも・・・

# 3 - 1 2025年回収量（総量）

単位：kg



## 3 - 2 2025年回収量（プラスチック）





# 3 - 3 - 1 生活由来





## 3 - 3 - 2 漁業由来





## 3 - 3 - 2 漁業由来





### 3 - 3 - 3 事業由来の気になる発生源

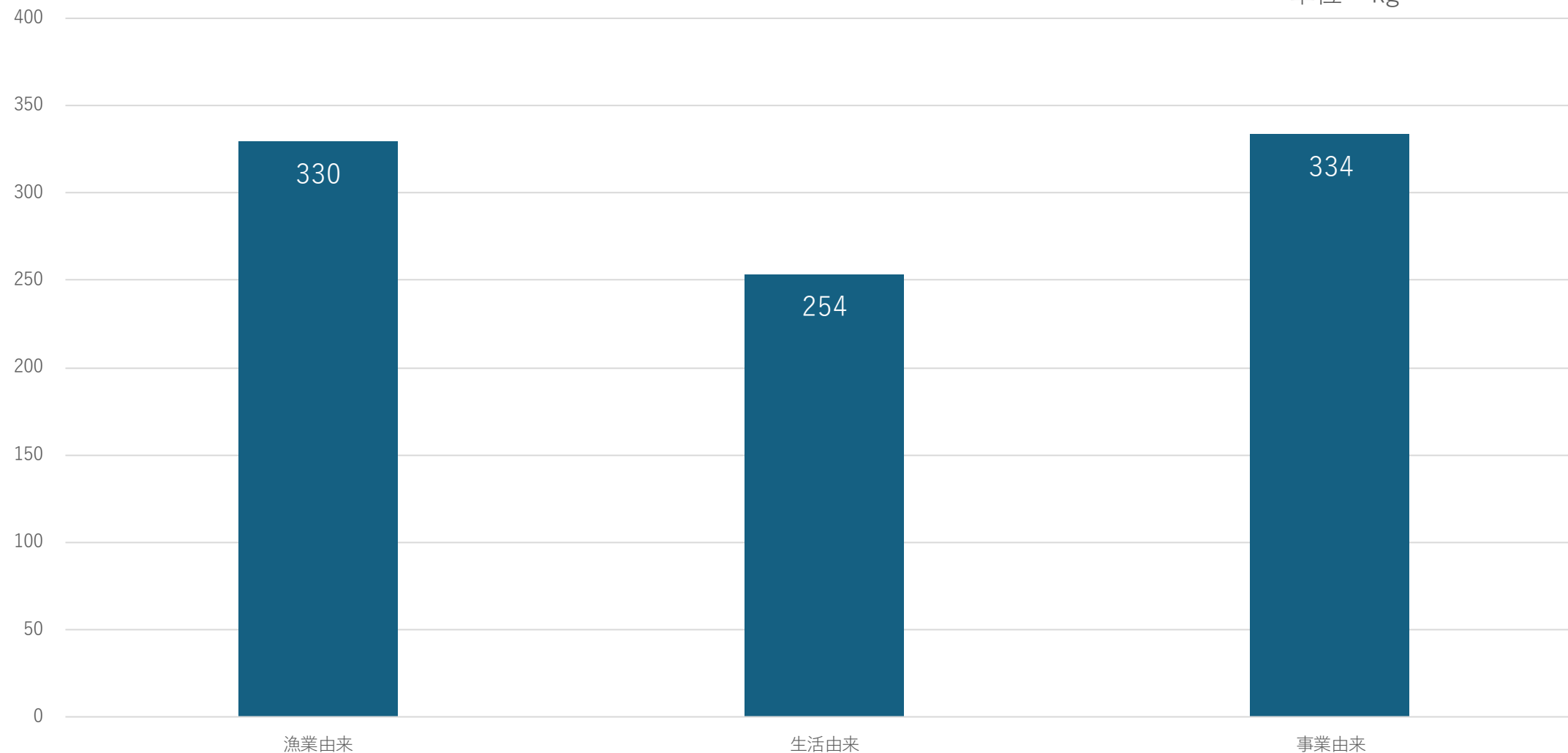


劣化が進んでいるフレコンバックや土嚢袋

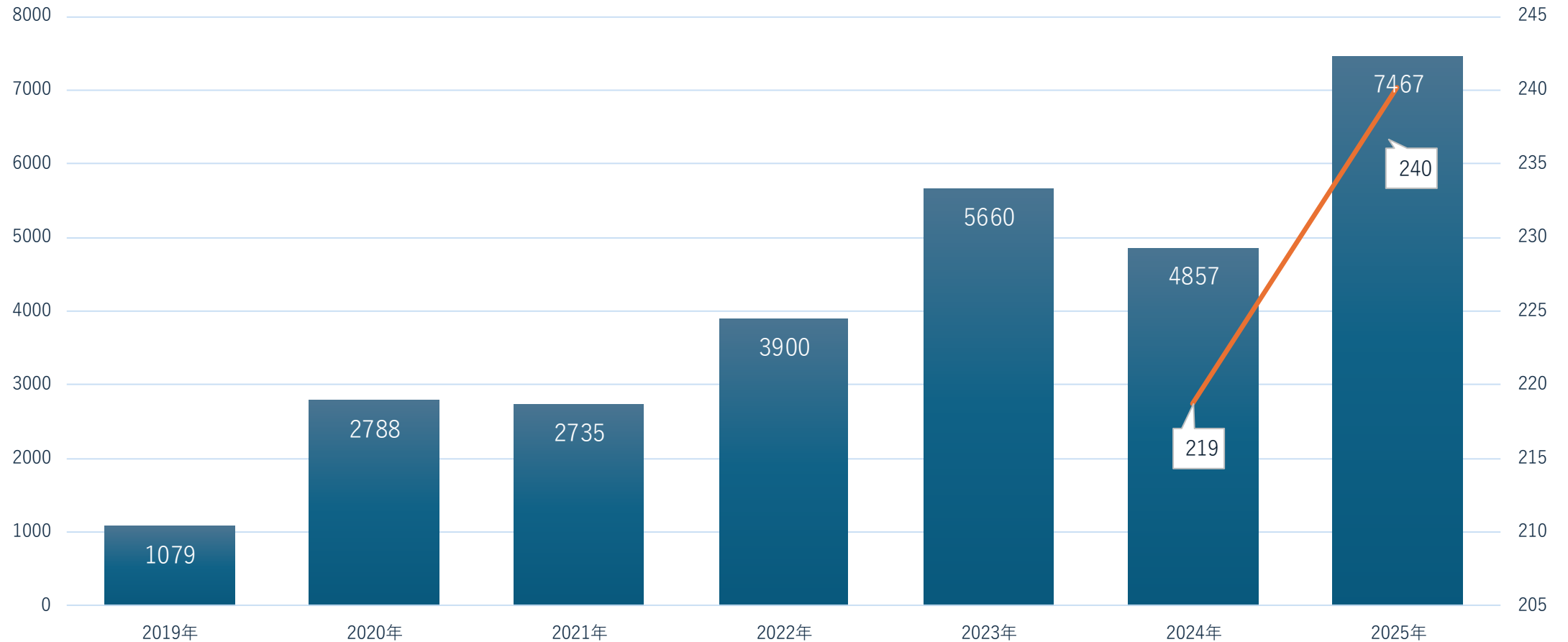


# 3 - 4 2025年回収量（金属）

単位：kg



## 3-5 ペットボトル回収本数



■ 本数(本) ■ 重量(kg)

※ペットボトルの重量は、2024年から計測

## 4 - 1 活動を通じて感じたこと

■ 微小化した比重の小さいプラスチックが行き着く先は・・・

■ 紫外線がとどきにくい海では・・・

■ プラスチック浪費社会に暮らす誰もが、微小プラスチック汚染を未来に押しつけている当事者であり、一人分の責任がある

■ 浜は微小プラスチックの発生装置だが、劣化する前に回収すれば浄化装置になる

■ 3 Rに加えて、環境に出てしまったゴミを拾って（rid）もらう仕組みが必要

■ 金銭的なインセンティブよりも、楽しみのついでに社会貢献・楽しみながら環境貢献の方が人材が集まり、地に足のついた創造的な活動ができる。

## 4 - 2 活動を通じて感じたこと

### ○ 行政にお願いしたいこと

微小プラスチック汚染の影響が疫学的に証明されてからではあと戻りできないこと、プラスチック浪費のツケが未来に押し付けられていることを強く啓発して欲しい。

海岸漂着物等地域対策推進事業が目的としていた本来の活用をパッケージ化して沿岸市町村に提案して欲しい。

助成金を当てにしないボランティア活動の存在にも目を向けて情報を集め、市民に参加の選択肢を発信してほしい

### ○ 関係団体をお願いしたいこと

漂着ごみの現状を見て・感じて・知って欲しい

未来への環境責任を考えて非プラ製品や自然分解されるバイオプラスチックへの切替を検討し、できないものは積極的にサーキュラーエコノミーに取り組んで欲しい

## 5 最後に



海洋汚染は、地球温暖化、生物多様性の喪失と並ぶ深刻な環境問題です。

漂着ゴミ回収ネットワークは、  
「ハチドリのひとしずく」をモットーに、  
ボランティア4原則にこだわった試行錯誤を愉しみながら、  
他の市町村でも今できることから始められる、  
漂着ゴミ回収の仕組みを探っています。

### ハチドリのひとしずく

森が燃えていました  
森の生きものたちは  
われ先にと逃げていきました  
でもクリキンティという名の  
ハチドリだけは  
いったりきたり  
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは  
火の上に落としています  
動物たちがそれを見て  
「そんなことをしていったい何になるんだ」  
とって笑います  
クリキンティはこう答えました  
「私は、私にできることをしているだけ」

ご清聴ありがとうございました



ヨミガエル 荒波にもまれて役割を終え、浜に打ち上げられた浮き玉で作りました。

## 岩手県海岸漂着物対策推進協議会設置要綱

### (設置)

第1条 岩手県における海岸漂着物対策（美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律（平成21年法律第82号。以下「法」という。）第1条に規定する「海岸漂着物対策」をいう。以下同じ。）を総合的かつ効果的に推進するため、法第15条第1項の規定に基づき、岩手県海岸漂着物対策推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### (所掌)

第2条 協議会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 法第14条第1項の規定による地域計画の作成又は変更に関して協議すること。
- (2) 海岸漂着物対策の推進に係る連絡調整に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、海岸漂着物対策の推進に関すること。

### (組織)

第3条 協議会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学識経験者
  - (2) 別表第1に掲げる団体等が推薦する者
- 2 協議会に座長を置き、構成員の互選とする。
- 3 座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、あらかじめ座長の指名する構成員がその職務を代理する。

### (任期)

第4条 前条第1項第1号に掲げる者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

### (会議)

第5条 協議会は、知事が招集する。

- 2 座長は、会務を総理し、会議の議長となる。

### (意見の聴取)

第6条 協議会は、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

### (事務局)

第7条 事務局は、別表第2に掲げる室課をもって構成するものとし、事務局の主管室課は環境生活部資源循環推進課とする。

- 2 環境生活部資源循環推進課は海岸漂着物対策を総括し、その他の室課は海岸漂着物対策に係る当該室課の所管業務を担うものとする。
- 3 協議会には別表第3に掲げる職員が出席するものとする。
- 4 協議会の庶務は、環境生活部資源循環推進課において処理する。

### (補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、座長が協議会に諮って定める。

### 附 則

- 1 この要綱は、令和元年5月8日から施行する。
- 2 この要綱は、令和4年5月16日から施行する。
- 3 この要綱は、令和5年4月1日から施行する。



別表第 1（第 3 条関係）

住民及び民間の団体	一般社団法人いわて流域ネットワーキング
	一般社団法人岩手県工業クラブ
	岩手県漁業協同組合連合会
	岩手県商工会議所連合会
	岩手県商工会連合会
	全国農業協同組合連合会岩手県本部
	特定非営利活動法人浄土ヶ浜ネイチャーガイド
関係行政機関	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
	海上保安庁第二管区海上保安本部釜石海上保安部
	環境省東北地方環境事務所
地方公共団体等	宮古市
	大船渡市
	久慈市
	陸前高田市
	釜石市
	岩手県市町村清掃協議会

別表第 2（第 7 条第 1 項関係）

環境生活部	環境生活企画室
	資源循環推進課
農林水産部	農村建設課
	農産園芸課
	森林保全課
	水産振興課
	漁港漁村課
県土整備部	河川課
	港湾空港課

別表第 3（第 7 条第 3 項関係）

環境生活部	環境生活企画室	企画課長
	資源循環推進課	総括課長、資源循環担当課長
農林水産部	農村建設課	水利整備・管理担当課長
	農産園芸課	園芸特産担当課長
	森林保全課	保全・治山林道担当課長
	水産振興課	振興担当課長
	漁港漁村課	漁港課長
県土整備部	河川課	河川海岸担当課長
	港湾空港課	整備担当課長

# 第2期岩手県海岸漂着物対策推進地域計画【概要】

## 第1章 岩手県海岸漂着物対策推進地域計画の基本的事項（第2期地域計画策定について）

### (1) 計画策定の背景

- 海洋プラスチックごみ等による地球規模での海洋環境の汚染によって、生態系、生活環境、漁業、観光等への悪影響が懸念
- 海洋のみならず、陸域においても対応が求められ、多様な主体の連携・協力が不可欠



【SDGsの目標】

### (2) 計画の策定について

- 令和元年度に第1期地域計画を策定
- 県内の海岸・海域においてプラスチックごみが確認されており、第2期地域計画でも取組の継続・強化が必要
- 海岸・河川の清掃活動を担う団体の担い手確保・育成、県民一人ひとりが参画する仕組みが必要
- 令和4年度施行のプラスチック資源循環促進法を踏まえ、一層のプラスチックごみ対策の推進を盛り込む必要

### (3) 計画の期間

令和5（2023）年度～令和8（2026）年度 4年間

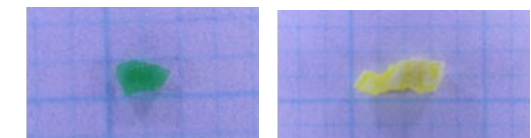
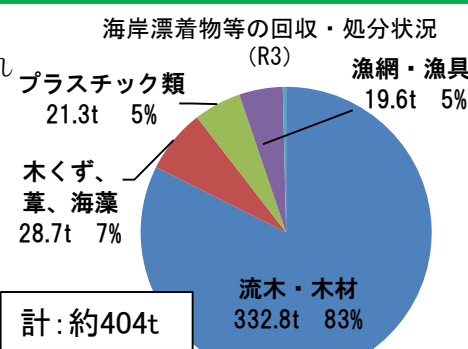
## 第2章 岩手県における海岸特性

- 延長約700kmにわたる海岸、多くの河川（うち6水系が他県に注ぐ）
- 本県の海岸の優れた自然環境を生かし、三陸復興国立公園等の自然公園、三陸ジオパーク、港湾・漁港、レジャー施設等として活用

## 第3章 岩手県における海岸漂着物等の現状と課題

### <現状>

- 令和3年度に回収・処理された海岸漂着物等：約404t
- 自然物が全体の90%を占めるも、人工物のうち、プラスチック類が約50%占める
- 県内海域においてもマイクロプラスチックごみを確認
- 海岸漂着物等対策が浸透



（環境生活部資源循環推進課調べ）  
←左写真）  
回収されたマイクロプラスチックごみ（R3）

### <課題>

- 海や川への更なるプラスチックごみ流出抑制の取組、モニタリングの継続が必要
- 内陸部を含めた取組の浸透や、そうした取組を担っていく団体・個人が高齢化・固定化していることから、ボランティアによる清掃活動への支援、環境保全団体の担い手育成、県民一人ひとりの行動を促す仕組みの構築が必要
- プラスチック資源循環促進法（新法）に基づくプラスチックごみ削減等の取組が必要

## 第4章 海岸漂着物対策の基本方針

### (1) 基本目標（第1期地域計画から継続）

森川海の流域全体で、県民が一体となって環境美化、3Rの推進等に積極的に取り組み、良好な環境が保たれた海岸を守ります。

### (2) 海岸漂着物対策の基本方針

#### 1 海岸漂着物等の円滑な処理

- 海岸管理者等は、海岸漂着物等の処理のための必要な措置を実施
- 海岸管理者等は、海岸漂着物等の処理にあたり、必要に応じ、市町村や県と連携

#### 2 海岸漂着物等の効果的な発生抑制

- 県・市町村は、内陸地域と沿岸地域が一体となり、3Rの推進、ごみ等の投棄防止や、水域への流出防止等による、海岸漂着物等となり得るごみ等の発生を抑制
- 県・市町村・事業者は、プラスチック資源循環促進法の趣旨を踏まえ、使い捨てプラスチック製品の使用削減等、廃プラスチック類の排出抑制の取組を推進
- 県は、海岸・河川の清掃活動を担う団体・企業等の主体的な活動を担う担い手育成、必要な支援の実施
- 県は、地域住民や企業等の自主的保全活動の展開のため、民間事業者等と連携し、必要なコーディネートを実施

#### 3 環境学習・普及啓発

- 県は、海岸漂着物等の円滑な処理やその発生抑制について、環境学習や消費者教育の推進に必要な施策を実施
- 県は、県民に対し、海岸漂着物等の実態や対策の実施状況等に関して積極的かつ効果的に周知
- 県は、海岸漂着物等に関する幅広い年齢層への学習資材及び県民への環境学習機会の積極的な提供
- 県は、県民一人ひとりが海洋ごみ問題に関心を持ち、主体的に環境美化活動に参画していける仕組みを構築

#### 4 多様な主体の適切な役割分担と連携の確保

- 行政機関のほか、県民や民間団体、事業者、研究者等の多様な主体が、適切な役割分担の下で積極的に取組を進めるとともに、各主体の相互の情報交換と連携・協力を図る

## 第5章 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域及びその対策内容

### (1) 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域の指定

本県沿岸全域を指定

### (2) 海岸漂着物対策の主な内容（主要新規・拡充事項は赤字記載）

#### ① 海岸漂着物等の円滑な処理

漂流ごみ等が生活・経済活動に支障を及ぼしている場合には、円滑な処理を推進。特に、漁業者等と連携した取組を支援

#### ② 海岸漂着物等の効果的な発生抑制

##### ア 流域圏が一体となった取組の推進

- 住民参加による地域資源を生かした環境保全活動を実施

##### イ 海岸・河川清掃を担う団体の育成等

- 地域で海岸・河川清掃や普及啓発活動等の中核的役割を担う人材等の育成・支援を推進

##### ウ プラスチックごみの削減等3Rの推進

- エコ協力店認定事業等、廃棄物の減量化等の施策の推進等
- プラスチック資源循環促進法に基づく、プラスチックごみの排出抑制、再資源化に向けた取組、市町村が行う分別収集・再資源化への技術的援助を実施

##### エ ごみ等の投棄の防止

- 「海ごみゼロウィーク」や環境月間等における取組を推進

#### ③ 環境学習・普及啓発

##### ア 環境学習

海岸・河川での清掃活動等体験活動を含めた環境学習等の振興及び環境人材の育成

##### イ 普及啓発

海岸漂着物等の処理施策等への情報提供及び普及啓発に係る資材等の提供

##### ウ 県民一人ひとりが主体となった取組の推進

県民参加型・環境美化活動の仕組の構築



啓発資材（子供向け）

## 第6章 関係者の相互協力及び役割分担に関する事項

- 海岸管理者等、県、市町村、国・研究機関、県民、事業者、団体等、多様な主体の適切な役割分担と相互協力が不可欠
- 各主体における役割分担を明確化

## 第7章 海岸漂着物対策の実施に当たって配慮すべき事項

- 県は、海岸漂着物等の定期的な調査を行い、対応策等を検討
- 県等は、災害等により大量の海岸漂着物等の発生や、危険物漂着時の速やかな情報収集及び情報の住民周知及び適正処理を実施
- 県は、海岸漂着物対策の活動に熱意と識見を有する海岸漂着物対策活動推進員・団体の担い手の育成と活動に必要な支援を実施
- 社会経済情勢の変化、制度の改正、県内の取組状況等を踏まえ、必要な見直しを実施

## 岩手県における海岸漂着物のモニタリング実施状況について

## 1 概要

第2期岩手県海岸漂着物推進計画において、県は、海岸漂着物等の組成及び存在量並びにこれらの経年変化を把握するため、定期的な調査を行うこととしている。

令和6年度も引き続き、海岸漂着物の量などの概況を把握することを目的とする「**海岸漂着物状況調査**」、漂着ごみの組成を分析することを目的とする「**漂着ごみ組成調査**」及び岩手県海域のプラスチックごみ分布状況の把握を目的とする「**海洋プラスチックごみ調査**」を実施した。

## 2 海岸漂着物状況調査について

## (1) 調査趣旨

県内海岸管理者への照会により、県内海岸における海岸漂着物の概況を把握した。

## (2) 調査方法

県内の県・市町村が所管する海岸を対象に、令和6年度に回収・処理した海岸漂着物等の重量及び主な内容等について、各海岸管理者に照会しとりまとめた。(本調査は平成30年度から実施している。)

## (3) 調査結果(下の図表のとおり。)

## ア 回収した漂着物の総量

令和6年度実績は、重量ベースで430.0トンであり、令和5年度比で10.8トン分総回収量が増加した。

## イ 漂着物の構成内容

令和6年度の調査結果においても、全体の多くを流木や海藻類棟の自然物が占めている一方、人工物(漁具、金属類、発泡スチロール、ゴム、ガラス)ではプラスチックごみが大半を占めており、海洋プラスチック汚染防止のための発生抑制、回収が重要である。このうち、令和5年度は人工物全体の73%を占めた漁網・漁具の回収量は、令和6年度は15トン(令和5年度比-8トン)となり、人工物に占める割合は65%に低下した。

## ウ 地域別の分布(参考)

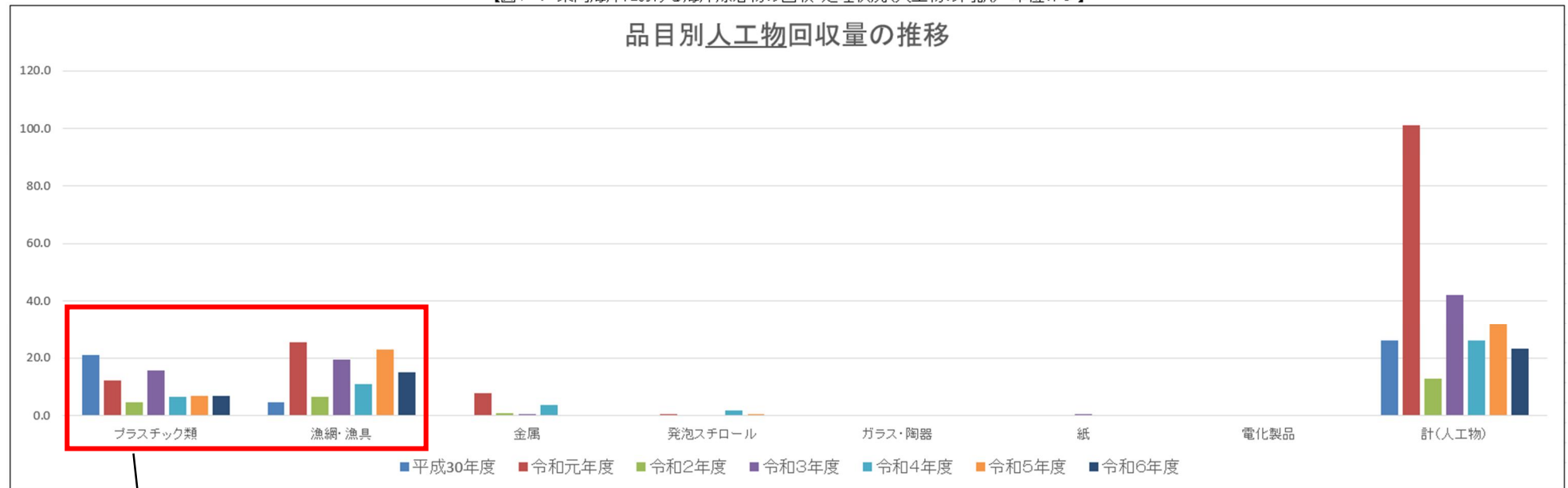
地域別の状況を見ると、年度によって総量や分布は異なるものの、漁港などの維持管理のため漂着物を回収・処理する割合が多い。(例:大船渡市、宮古市、山田町における市管理漁港へのごみ回収ボックス設置による漁業者との連携した取組など。)

【表1 : 県内海岸における海岸漂着物の回収・処理状況(分類別) 単位:トン】

内訳	自然物・その他(※)					人工物									計
	流木	海藻	木(木材等)	その他	小計	ゴム	プラスチック類	漁網・漁具	金属	発泡スチロール	ガラス・陶器	紙	電化製品	計(人工物)	
平成30年度	168.7	124.1	0.0	116.8	435.6	0.0	21.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	435.6
令和元年度	3,118.3	10.0	0.5	221.5	3,451.5	55.0	12.3	25.4	8.0	0.5	0.0	0.0	0.0	101.2	3,451.5
令和2年度	290.5	0.5	16.4	0.2	320.4	0.3	4.7	6.5	0.9	0.4	0.2	0.0	0.0	12.9	320.4
令和3年度	332.8	0.0	28.7	0.3	361.8	5.5	15.8	19.6	0.5	0.0	0.0	0.7	0.0	42.1	403.8
令和4年度	354.9	0.0	16.9	0.7	372.5	2.7	6.5	11.0	3.8	1.9	0.0	0.1	0.0	26.0	398.6
令和5年度	356.0	6.8	20.8	4.1	387.6	0.8	7.1	23.0	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0	31.6	419.2
令和6年度	334.1	0.1	32.4	40.3	406.8	0.7	7.1	15.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	23.2	430.0
計	4,955.2	141.5	115.6	383.9	5,736.3	65.0	74.6	105.2	13.4	3.8	0.2	0.8	0.0	263.0	5,859.1

令和5年度と比較し、令和6年度のプラスチック類回収量は横ばい、漁具・漁網の回収量は減少した。

【図1 : 県内海岸における海岸漂着物の回収・処理状況(人工物の内訳) 単位:トン】



例年プラスチック類、漁具の回収量が多い。

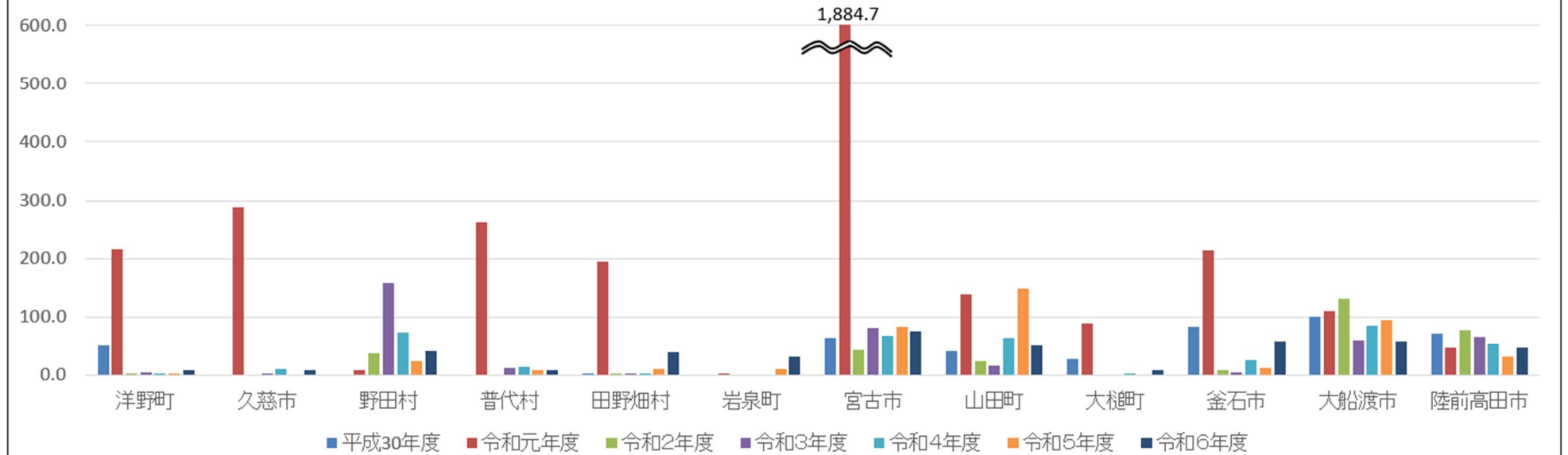


【表2-1 : 市町村別県内海岸における海岸漂着物の回収・処理状況 単位:トン】

内訳	洋野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村	岩泉町	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	合計
管理海岸・港湾・漁港数	22	22	9	9	9	6	36	13	4	29	42	22	223
平成30年度	51.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	63.4	40.6	27.0	82.4	99.4	70.8	435.6
令和元年度	215.3	289.1	7.8	260.7	194.1	3.0	1,884.7	137.9	89.3	213.2	109.2	47.2	3,451.5
令和2年度	1.6	0.0	37.5	0.0	1.7	0.0	41.9	22.7	0.0	7.7	130.8	76.6	320.4
令和3年度	4.6	1.3	157.7	11.6	1.5	0.0	80.6	16.3	0.0	4.2	60.0	66.0	403.8
令和4年度	0.1	10.7	72.6	13.2	1.4	0.0	68.4	64.3	2.7	26.1	84.3	54.9	398.6
令和5年度	2.2	0.0	23.0	7.4	10.6	9.2	82.2	148.7	0.0	11.0	93.7	31.2	419.2
令和6年度	8.0	8.0	41.5	8.3	39.3	30.9	74.5	49.4	7.2	58.2	58.4	46.4	430.0
計	282.7	309.1	340.1	301.2	249.6	43.1	2,295.6	479.9	126.2	402.9	635.6	393.1	5,859.1

台風 19 号の影響により令和元年度の回収量が突出している。

【図2-1 : 市町村別県内海岸における海岸漂着物の回収・処理状況 単位:トン】

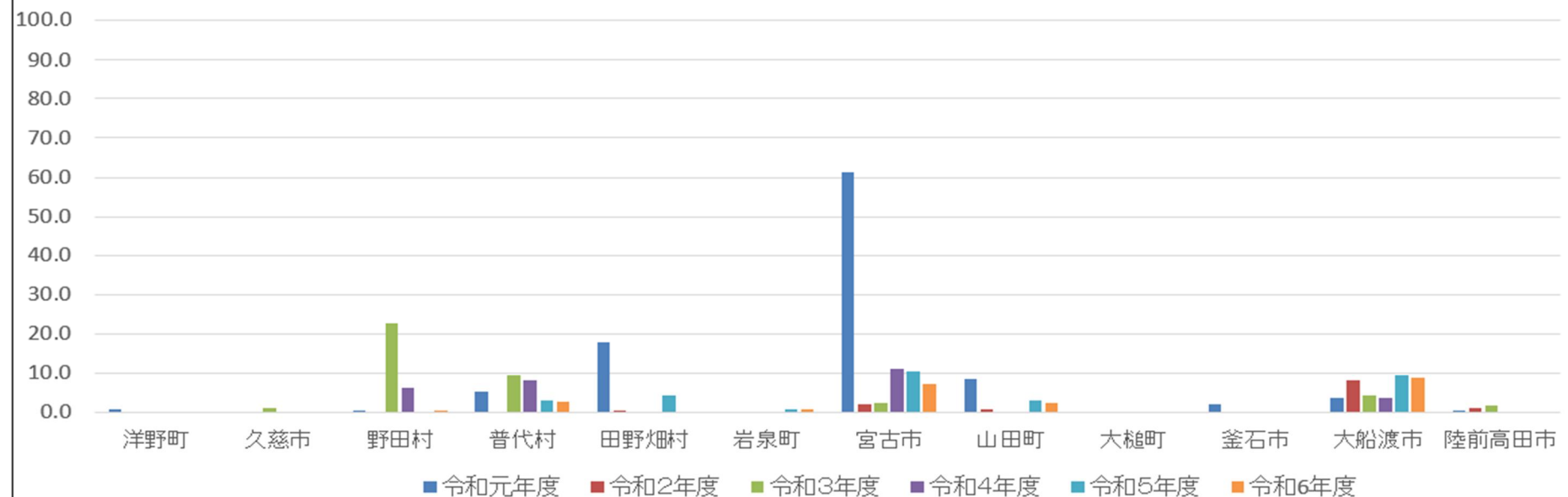


【表2-2：市町村別県内海岸における海岸漂着物の回収・処理状況(人工物) 単位:トン】

内訳	洋野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村	岩泉町	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	合計
管理海岸・港湾・漁港数	22	22	9	9	9	6	36	13	4	29	42	22	223
平成30年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年度	0.9	0.1	0.4	5.3	18.0	0.0	61.3	8.6	0.0	2.1	3.9	0.6	101.2
令和2年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	2.2	1.0	0.0	0.0	8.2	1.1	12.9
令和3年度	0.0	1.3	22.7	9.5	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	4.3	1.7	42.1
令和4年度	0.1	0.3	6.3	8.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	29.7
令和5年度	0.0	0.0	0.0	3.1	4.4	1.0	10.6	3.1	0.0	0.0	9.4	0.0	31.6
令和6年度	0.0	0.3	0.6	2.7	0.0	0.8	7.3	2.5	0.0	0.0	8.8	0.2	23.2
計	1.0	1.7	29.4	26.2	22.9	1.0	87.7	12.7	0.0	2.1	29.4	3.4	217.4

人工物の回収量が多い市町村は宮古市及び大船渡市

【図2-2：市町村別県内海岸における海岸漂着物の回収・処理状況(人工物) 単位:トン】



### 3 漂着ごみの組成調査の実施状況について

#### (1) 調査趣旨

海岸へのごみの漂着状況について定点調査を行い、漂着ごみの組成を分析する。

#### (2) 調査方法

県内海岸のうち5箇所を観測地点として選定し、観測地点の範囲内に漂着していたごみの個数や重量を計測した。

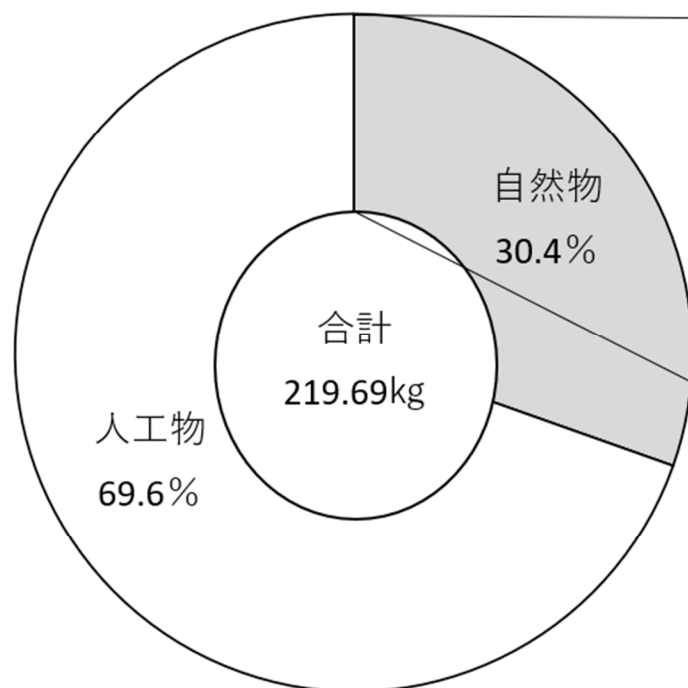
漂着ごみの分類や観測地点の選定等の調査手法については、環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に基づき実施した。

#### (3) 調査時期

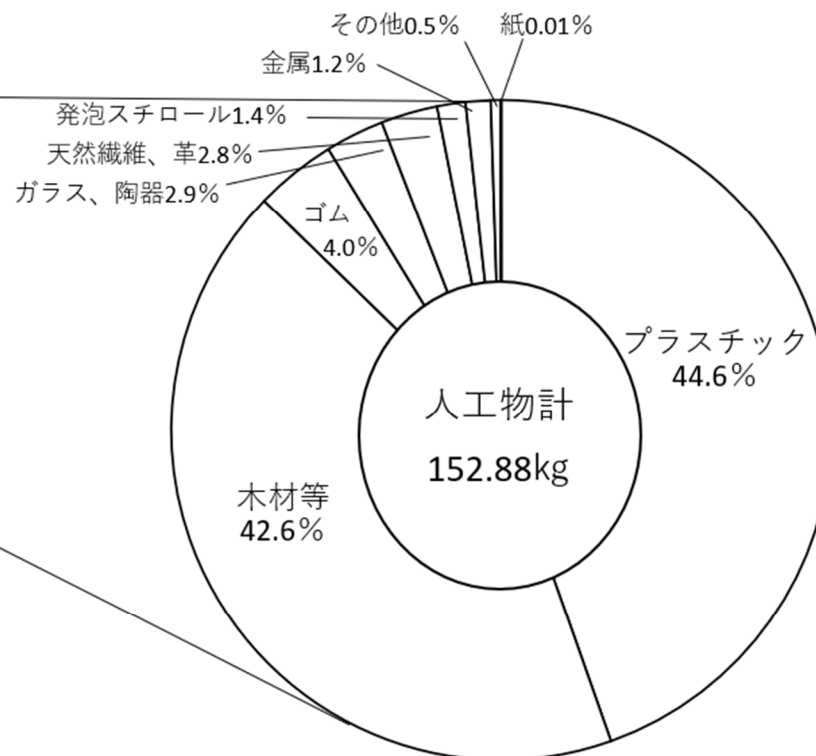
令和6年6月

#### (4) 調査結果

全体の約30.4%が自然物（流木や灌木、海藻等）であった。約69.6%が人工物であり、人工物の主な組成はプラスチック類44.6%、木材42.6%、ゴム4.0%、ガラス、陶器2.9%、天然繊維、革2.8%、発泡スチロール1.4%、金属1.2%、その他0.5%、紙0.01%。



【図3：漂着ごみの構成（全体）】



【図4：漂着ごみの構成（人工物）】

【表 3：令和 6 年度漂着ごみモニタリング実施状況（人工物の組成内訳）】

大分類	項目	重量	個数	重量割合(%)
プラスチック	シートや袋の破片	29.97	0	19.6%
	浮子（ブイ）（漁具）	11.57	0	7.6%
	ロープ、ひも（漁具）	7.86	220	5.1%
	硬質プラスチック破片	5.905	0	3.9%
	生活雑貨（歯ブラシ等）	2.908	2	1.9%
	漁網（漁具）	2.6	0	1.7%
	飲料用（ペットボトル）≧1L	1.75	44	1.1%
	飲料用（ペットボトル）<1L	1.515	55	1.0%
	レジ袋	1.09	114	0.7%
	その他	0.87	0	0.6%
	その他の漁具	0.61	0	0.4%
	その他プラスチック袋	0.491	0	0.3%
	ボトルのキャップ、ふた	0.219	23	0.1%
	カップ、食器	0.19	3	0.1%
	ライター	0.162	8	0.1%
	食品容器	0.108	9	0.1%
	釣りのルアー・浮き	0.1	2	0.1%
	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	0.06	1	0.0%
	苗木ポット	0.05	0	0.0%
	その他の釣具	0.04	0	0.0%
	たばこ吸殻（フィルター）	0.04	98	0.0%
	その他のプラボトル<1L	0.03	2	0.0%



	ストロー	0.01	1	0.0%
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.01	1	0.0%
	食品の容器包装	0.01	0	0.0%
	釣り糸	0.01	1	0.0%
	その他のプラボトル類≧1L	0	0	0.0%
	ウレタン	0	0	0.0%
	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	0	0	0.0%
	カキ養殖用まめ管（長さ 1.5cm）（漁具）	0	0	0.0%
	カキ養殖用パイプ(長さ 10-20cm)（漁具）	0	0	0.0%
	かご漁具	0	0	0.0%
	花火	0	0	0.0%
	玩具	0	0	0.0%
	プラスチック梱包材	0	0	0.0%
	シリンジ、注射器	0	0	0.0%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0	0.0%
木、木材等	木材(物流用パレット、木炭等含む)	65.2	732	42.6%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0	0.0%
	その他	0	0	0.0%
ゴム	ゴムの破片	5.298	0	3.5%
	靴（サンダル、靴底含む）	0.8	1	0.5%
	タイヤ	0	0	0.0%
	玩具、ボール	0	0	0.0%
	風船	0	0	0.0%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0	0.0%

	その他	0	0	0.0%
ガラス、陶器	その他	3.83	0	2.5%
	食品容器	0.32	0	0.2%
	コップ、食器	0.254	2	0.2%
	建築資材	0	0	0.0%
	ガラス、陶器の破片	0	0	0.0%
	食品以外容器	0	0	0.0%
	電球	0	0	0.0%
	蛍光管	0	0	0.0%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0	0.0%
天然繊維、革	ロープ、ひも	3.01	27	2.0%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.886	0	0.6%
	その他	0.342	0	0.2%
発泡スチロール	食品容器（発泡スチロール）	1.13	0	0.7%
	発泡スチロールの破片	0.995	0	0.7%
	コップ、食器（発泡スチロール）	0	0	0.0%
	発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	0	0	0.0%
	発泡スチロール製包装材	0	0	0.0%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0	0.0%
	その他	0	0	0.0%
金属	フォーク・ナイフ・スプーン等	0.75	0	0.5%
	アルミの飲料缶	0.429	12	0.3%
	金属片	0.374	0	0.2%
	ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.284	6	0.2%

	スチール製飲料用缶	0.032	1	0.0%
	金属製コップ、食器	0	0	0.0%
	その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0	0	0.0%
	ワイヤー、針金	0	0	0.0%
	金属製漁具	0	0	0.0%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0	0.0%
	その他	0	0	0.0%
その他	その他 1 ( )	0.74	0	0.5%
	その他 2 ( )	0.01	0	0.0%
	その他	0	0	0.0%
	その他 3 ( )	0	0	0.0%
紙、ダンボール	タバコのパッケージ (フィルム、銀紙を含む)	0.01	2	0.0%
	紙製コップ、食器	0.007	1	0.0%
	花火	0	0	0.0%
	紙袋	0	0	0.0%
	食品包装材	0	0	0.0%
	紙製容器 (飲料用紙パック等)	0	0	0.0%
	紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0	0	0.0%
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0	0.0%
	その他	0	0	0.0%
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0	0.0%
人力で動かせない物	ごみの種類 ( )	0	0	0.0%

【表４：漂着ごみモニタリング実施状況（調査地点別）】

令和６年度 漂着ごみモニタリング実施状況

公所名	海岸名	実施日	重量(kg)	主な内容
県北土木	宇留部海岸	R6.6.27	0.88	プラ、発泡スチロール、金属
岩泉土木	明戸海岸	R6.6.7	71.12	プラ、ゴム、ガラス・陶器、金属、紙・段ボール、天然繊維・革、自然物
宮古土木	松月海岸	R6.6.21	76.53	プラ、発泡スチロール、ゴム、ガラス・陶器、金属、その他
沿岸土木	水海海岸	R6.6.11	71.16	プラ、発泡スチロール、ゴム、金属、流木、自然物
大船渡土木	高田海岸	R6.6.15	0.00	漂着ごみなし
合計			219.69	

大分類の内訳

(単位：kg)

大分類	宇留部海岸	明戸海岸	松月海岸	水海海岸	高田海岸	合計	比率
プラスチック	0.53	2.11	63.69	1.85		68.18	31.0%
発泡スチロール	0.01		2.02	0.10		2.13	1.0%
ゴム		0.56	5.14	0.40		6.10	2.8%
ガラス、陶器		0.25	4.15			4.40	2.0%
金属	0.35	0.24	0.78	0.50		1.87	0.9%
紙、段ボール		0.01		0.01		0.02	0.0%
天然繊維、革		4.24				4.24	1.9%
木（木材等）				65.20		65.20	29.7%
電化製品、電子機器						0.00	0.0%
自然物		63.71		3.10		66.81	30.4%
その他			0.75			0.75	0.3%
人力で動かせない物						0.00	0.0%
合計	0.88	71.12	76.53	71.16	0.00	219.69	100.0%

## 4 海洋プラスチックごみ調査について

### (1) 調査目的

第2期岩手県海岸漂着物対策推進地域計画7.1に基づく海岸漂着物等のモニタリングのうち、県内海域におけるプラスチックごみ（マイクロプラスチックを含む）の分布状況等を把握する。

### (2) 調査内容

#### ア 調査方法及び調査対象

環境省「漂流マイクロプラスチックのモニタリング手法調和ガイドライン」（ver1.1）に準拠した方法とした。

調査対象はマイクロプラスチック（長径5mm以下）を含むプラスチックごみ（全サイズ）とした。なお、長径1mm未満のマイクロプラスチックは分析の精度が低いため参考値として報告する。

#### イ 調査地点及び回数

本県の北部（普代村黒崎沖）と南部（陸前高田市椿島沖）における岸から0海里地点と50海里（約93km）地点の合計4地点（10月は0海里2地点）を調査地点とした。各地点について3回（7月上旬、7月下旬及び10月）調査を実施した。

#### ウ 試料採取の方法

本県水産技術センターが水産庁の「令和6年度水産資源調査・評価推進委託事業」で実施している定期調査に合わせ、試料採取を実施した。開口部75cm四方のネットを曳網（船速1～3ノット、20分間）して海中の漂流物を採取した。また、調査では曳網と並行して、海上を浮遊する粗大なプラスチックごみの目視調査を行った。

#### エ 分析方法

採取した試料はプラスチックごみ以外の自然物（砂粒、植物片、プランクトン等）を多量に含むため、金属ふるいや比重分離等により分離しながら目視によりプラスチックごみを摘出・回収した。その後、FT-IR法※によりプラスチックごみの同定を行った。

※FT-IR法…物質に赤外線を照射し、どの波長がどの程度吸収されたか（スペクトル）をデータベースと照合し、材質を同定する方法。

### (3) 調査結果

調査結果は表5のとおり。回収されたマイクロプラスチック（1-5mm）の個数は1地点あたり7～434個（平均119個）、個数をろ水量で割った個数密度は0.044～2.182個/m<sup>3</sup>であり、調査地点や時期により個数の分布にばらつきがあった。個数密度は、同じ地点でも数時間で値が約1桁変化することがあるなど変動が激しい数値であるが、令和5年度の結果と同程度であった。（令和5年度は0.027～2.211個/m<sup>3</sup>）

プラスチックごみの形状は破片が多くを占め、材質はポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンの順に多かった（この比率は、日本プラスチック工業連盟が発表したプラスチック原材料生産実績（2012～2020年：密度が1g/cm<sup>3</sup>以下のプラスチックについて）に示される生産量と同様の傾向）。

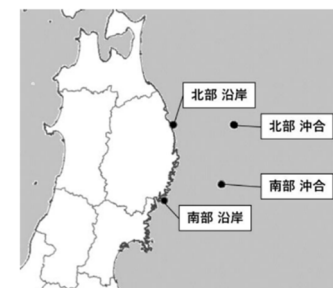


図5 調査地点



図6 曳網のようす



昨年度の調査で確認された、材質が EVA（エチレン酢酸ビニル）である被覆肥料殻は今回の調査では採取されなかったが、ポリウレタン樹脂の被覆肥料と推察される粒子が確認された。また、発泡スチロールやポリスチレンビーズを起源とするものと推定された粒子が優占したケースもあった。

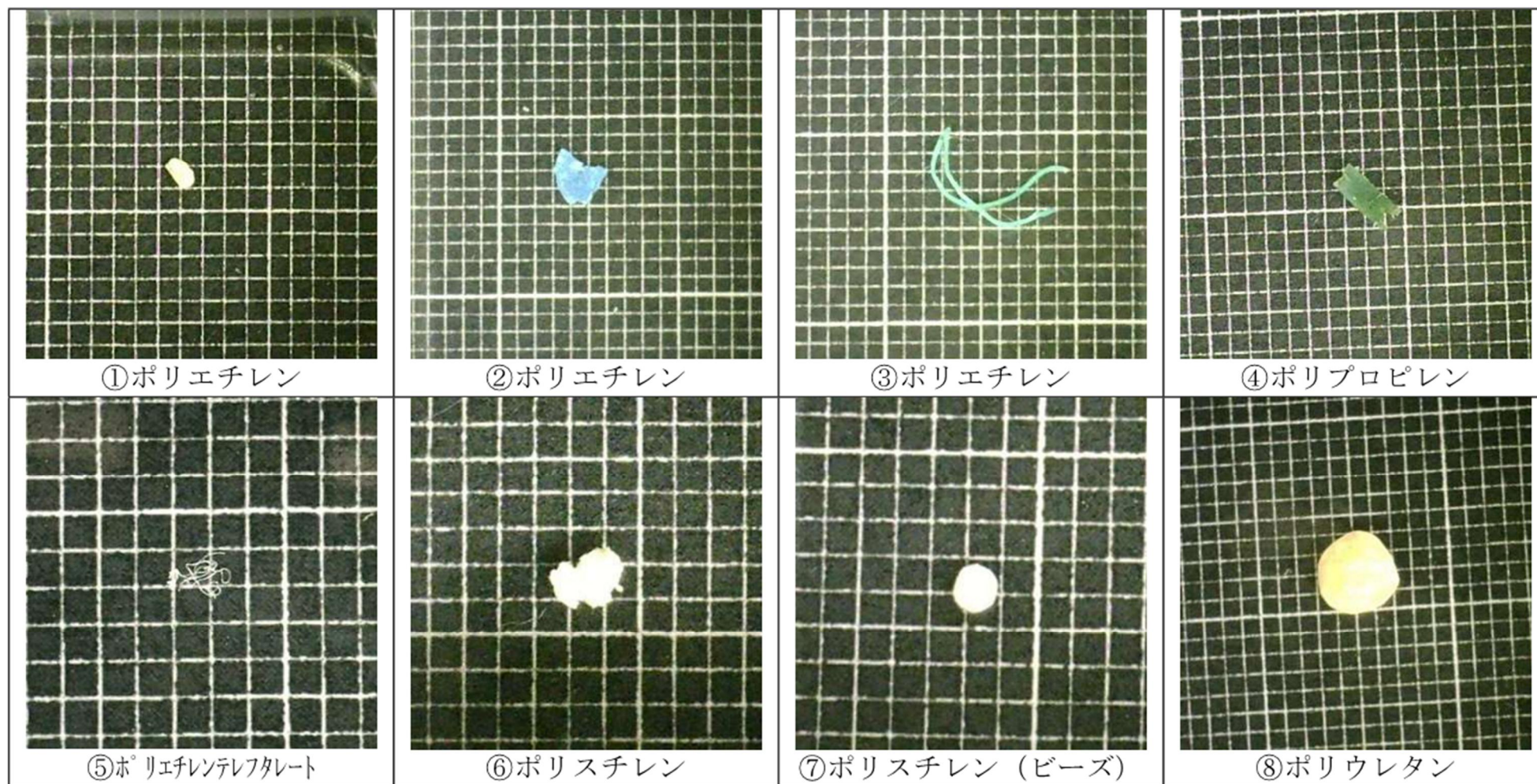
これまでの調査でプラスチック粒子が多く含まれる試料にはアミ類や稚魚などの生物体や、藻類や落枝などの漂流物も多く含まれていることから、採取地点が潮目のような浮遊物が集積する地点に当たると検出されるプラスチックごみの個数及び密度が増加しているものと推察された。

個数密度は海況等による影響が大きいと思われるが、今回の調査結果のように特定の排出源による影響を大きく反映した結果が得られることもあり、引き続きデータを収集してプラスチックごみの排出源対策に活かしていく必要がある。

表 5 【調査結果】

		第 1 回調査				第 2 回調査				第 3 回調査	
		北部沿岸	北部沖合	南部沿岸	南部沖合	北部沿岸	北部沖合	南部沿岸	南部沖合	北部沿岸	南部沿岸
ろ水量の推計値 (m <sup>3</sup> )		199	224	254	256	130	160	382	347	247	210
最大フェレー径 (d) 別 粒子個数 (個)	【小】 d < 1.0 mm	39	2	10	9	5	0	18	3	3	3
	【中】 1.0 mm ≤ d ≤ 5.0 mm	434	20	51	72	17	7	133	122	217	113
	【大】 d > 5.0 mm	83	6	7	9	12	7	13	36	27	15
	合計	556	28	68	90	34	14	164	161	247	131
個数密度 (個/m <sup>3</sup> ) 【中】 1.0 mm ≤ d ≤ 5.0 mm		2.182	0.089	0.201	0.281	0.131	0.044	0.348	0.351	0.880	0.537
形状別粒子個数 (個) (【中】画分)	破片	442 (399)	21 (18)	51 (41)	76 (63)	21 (15)	9 (6)	138 (116)	84 (73)	101 (90)	121 (108)
	フィルム	18 (14)	2 (0)	2 (2)	4 (3)	1 (0)	0 (0)	5 (3)	6 (0)	1 (0)	1 (0)
	繊維	96 (21)	2 (1)	13 (6)	9 (5)	12 (2)	4 (0)	19 (12)	9 (2)	3 (1)	5 (1)
	発泡体	0 (0)	3 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	40 (27)	103 (87)	3 (3)
	その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	22 (20)	39 (39)	1 (1)
材質別粒子個数 (個) (【中】画分)	ポリエチレン	374 (287)	18 (13)	36 (29)	46 (38)	20 (11)	10 (6)	99 (86)	42 (34)	42 (34)	77 (67)
	ポリプロピレン	181 (146)	6 (4)	18 (9)	33 (24)	13 (5)	2 (0)	55 (40)	38 (23)	36 (31)	46 (39)
	ポリスチレン	0 (0)	4 (3)	7 (6)	8 (8)	0 (0)	2 (1)	3 (2)	67 (53)	168 (151)	7 (7)
	他プラ	1 (1)	0 (0)	7 (7)	3 (2)	1 (1)	0 (0)	7 (5)	14 (12)	1 (1)	1 (0)

図7 令和6年度調査で検出されたプラスチックごみの一部



岩手県の海岸漂着物対策の取組状況一覧

○第2期岩手県海岸漂着物対策推進地域計画に基づく取組状況一覧表

資料2

赤字部分：昨年度からの更新・変更点

項目	事業名	取組の概要	令和6年度の取組実績	令和7年度の取組内容	今後の対応方針、課題	関係課
(1) 海岸漂着物等の円滑な処理						
ア 海岸管理者等の処理の責任						
(ア) 海岸管理者等の処理の責任	漁港管理運営費	漁港及び海岸区域内の海岸漂着物を回収し、適正に運搬・処理を行う。	流木等の漂着物の回収を行った。	管理する漁港海岸に漂着した漂着物を適切に回収・運搬及び処理を行う。	引き続き、漁港及び海岸保全区域内における漂着物の回収・処理に取り組む。	漁港漁村課
	河川海岸等維持修繕	管理する海岸に漂着した漂着物の回収・処理を行う。	流木等64.5 t の漂着物の回収・処理を行った。	管理する海岸に漂着した漂着物の回収・処理を行う。	引き続き、管理海岸における漂着物の回収・処理に取り組む。	河川課
	港湾快適環境推進事業費	港湾に漂着する海洋ごみの回収・処理を行う。	流木等13.36 t の漂着物の回収・処理を行った。	港湾に漂着する海洋ごみの回収・処理を行う。	引き続き、港湾における漂着物の回収・処理に取り組む。	港湾空港課
(イ) 市町村の協力義務	海岸漂着物等地域対策推進事業費	市町村が行う海洋ごみの回収・処理や発生抑制対策の取組に対してその経費を補助する。	4市町（大船渡市、陸前高田市、宮古市、山田町）に対し補助を実施。	6市町村（宮古市、大船渡市、山田町、大槌町、陸前高田市、田野畑村）に対し交付決定。	補助制度を活用した市町村の取組を一層促進する必要がある。	資源循環推進課
ウ 地域外からの海岸漂着物等に対する連携						
エ 漂流ごみ等の円滑な処理の推進	-	海岸保全区域内において、月1回巡回点検を行っており、漂流ごみ等の円滑な処理に努めている。	海岸保全区域内において、月1回巡回点検を行っており、漂流ゴミ等の円滑な処理に努めている。	海岸保全区域内において、月1回巡回点検を行っており、漂流ゴミ等の円滑な処理に努めていく。	取組を継続し、漂流ごみの円滑な処理に努める。	漁港漁村課
オ 海岸漂着物等の適正処理						
(ア) 不法投棄物の適正処理	-	海岸漂着物等が不法投棄等によって生じたものであることが明らかである場合は、その原因者の責任において処理がなされるよう、必要な措置を講ずる。	県が対応を要する不法投棄事案は発生していないが、引き続き、監視指導等不法投棄の防止に努める。	県が対応を要する不法投棄事案は発生していないが、引き続き、監視指導等不法投棄の防止に努める。	監視指導等による不法投棄の防止に努め、不法投棄が発見された場合には必要な措置を講ずる。	資源循環推進課
(イ) 災害廃棄物等の適正処理	災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業	洪水、台風等により海岸に漂着した流木及びごみ等の処理を行う。	当該事業の対象となる洪水、台風等が無かった。	当該事業の対象となる洪水、台風等が発生し流木等の処理の必要が生じた場合には、適切に処理を行う。	当該事業の対象となる洪水、台風等が発生し流木等の処理の必要が生じた場合には、適切に処理を行う。	河川課
	港湾災害復旧事業	台風等により港湾に漂着した流木等の海洋ごみの回収・処理を行う。	当該事業の対象となる台風等が無かった。	当該事業の対象となる台風等が発生し、流木等の処理の必要が生じた場合には、適切に処理を行う。	当該事業の対象となる台風等が発生し、流木等の処理の必要が生じた場合には、適切に処理を行う。	港湾空港課
	・災害復旧事業（国庫及び県単独） ・災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業	洪水、台風等により海岸に漂着した流木及びごみ等を回収・運搬及び処理するもの。	台風及び低気圧等により、漁港内に漂着した流木等103.8 t を、災害復旧事業により、回収・運搬及び処理した。	台風及び低気圧等による漂着物が発生した際は、適切に処理を行う。	今後も漂着物の規模や、漂着場所等により、該当する事業において、適正に回収・運搬及び処理を行っていくこととする。	漁港漁村課
(ウ) 大量の海岸漂着物等が集積する地域における処理の推進等	-	海岸漂着物等により地域の環境の保全上著しい支障が生ずるおそれがある場合は、環境省その他の関係行政機関に対し、当該海岸漂着物等の処理について協力を求める。	対応を要する事例はなかった。	現時点では対応を要する事例は発生していない。	必要に応じ、関係機関と連携して対処する。	資源循環推進課



岩手県の海岸漂着物対策の取組状況一覧

項目	事業名	取組の概要	令和6年度の取組実績	令和7年度の取組内容	今後の対応方針、課題	関係課
(2) 海岸漂着物等の効果的な発生抑制						
ア 流域圏が一体となった取組の推進						
(イ) 各流域で活動する団体の連携	環境学習交流センター管理運営費	県内各地域の環境保全活動等の連携交流を促進するため、フォーラムを開催する。	「水と緑の交流フォーラム（意見交換会）」を開催（R 6：1 回（11/30、盛岡市））。	「水と緑の交流フォーラム（意見交換会）」を開催（R 7：1 回（11/29、盛岡市））。	県内各地域の環境保全活動等の連携交流を促進するため、継続してフォーラムを開催する。	環境生活企画室
(ウ) 優良事例の表彰	環境政策事務費 水と緑の活動促進事業費	市町村、振興局から推薦のあった環境保全活動や水と緑を守り育てる取組を実施している個人・団体を顕彰するもの。 (岩手県環境保全活動表彰・水と緑を守り育てる活動知事感謝状)	岩手県環境保全活動表彰では、6 個人・4 団体、水と緑を守り育てる活動知事感謝状では 2 団体を表彰した。	岩手県環境保全活動表彰では、6 個人・4 団体、水と緑を守り育てる活動知事感謝状では 4 団体を表彰した。	環境保全活動等に取り組んでいる団体等の掘り起こしを進め、優良事例の表彰に繋げる。	環境生活企画室
イ 海岸・河川清掃を担う団体の育成等						
	海岸漂着物等地域対策推進事業費	県内各地域の団体との連携により、新たに海洋ごみ等の清掃活動を行う団体への支援・コーディネートを実施する。	1 団体6万円を上限として、海ごみに係る環境学習とセットで清掃活動を行う団体を支援。(7 団体に対し交付決定。)	岩手県立大学との地域協働研究により、清掃活動を見える化するアプリケーションを開発に協力し、試験運用に関し周知を図った。試験運用に協力いただいた団体には活動経費を支援。(実績：6 団体)	翌年度以降も地域協働研究を継続し、清掃活動に県民が参画しやすい仕組みづくりに取り組む。	資源循環推進課
ウ プラスチックごみの削減等3Rの推進						
(ア) いわて三ツ星 eco マナーアクション	循環型地域社会形成推進事業費	いわて三ツ星 eco マナーの普及を通じて、ごみのポイ捨て禁止や使い捨てプラスチックの排出抑制を啓発する。	新聞、バス広告、ラジオ広報等を通じて、プラごみの削減につながる eco マナーの啓発を実施した。	新聞、バス広告、ラジオ広報等を通じて、3 R をはじめとした eco マナーの啓発を実施予定。	事業者の協力も得ながら、県民への eco マナー普及に取り組む。	資源循環推進課
(イ) 環境省「プラスチック・スマート」キャンペーンに基づく取組	循環型地域社会形成推進事業費	-	プラスチックごみを減らすため、プラスチックごみの削減に積極的に取り組むお店を「いわてプラごみ削減協力店」として登録。認定店にはプラスチック代替試供品を提供するとともに、各店舗の取組は SNS 等で PR する。	プラスチックごみを減らすため、プラスチックごみの削減に積極的に取り組むお店を「いわてプラごみ削減協力店」として登録。各店舗の取組は SNS 等で PR する。	地域の取組を波及させ活性化を促すため、活動状況の情報収集、見える化や情報共有に取り組む。	資源循環推進課
(ウ) エコ協力店いわて認定事業	循環型地域社会形成推進事業費	ごみの減量化やリサイクルに取り組む小売店やサービス業を営む営業所をエコショップ、飲食店をエコレストラン、宿泊施設をエコホテルとして認定し、事業者の自主的な取組を促進する。	特定プラスチック使用製品を扱う事業者を認定対象とした。 エコ協力店いわて認定店舗数は323 店舗となった。	3 R 啓発 P O P を店舗内に掲示していただくなど、認定店舗と連携した啓発活動を実施予定。	店舗におけるごみの減量化や使い捨てプラスチックの削減を支援するとともに、エコ協力店認定店舗を通じた消費者への意識啓発を推進する。	資源循環推進課

岩手県の海岸漂着物対策の取組状況一覧

項目	事業名	取組の概要	令和6年度の取組実績	令和7年度の取組内容	今後の対応方針、課題	関係課
(エ) プラスチック代替素材等普及啓発促進事業	循環型地域社会形成推進事業費	プラスチックごみの削減に積極的に取り組む店舗をいわてプラごみ削減協力店として認定し、事業者の自主的な取組を促進する。	プラスチック代替製品の使用を検討する認定店に対し試供品を提供し、導入を支援。	いわてプラごみ削減協力店の登録店拡大に向けて啓発を実施し、令和6年10月1日時点で187店舗を登録。	店舗におけるプラスチックごみの削減やプラスチック代替製品の導入を支援するとともに、いわてプラごみ削減協力店認定店舗を通じた消費者への意識啓発を推進する。	資源循環推進課
(オ) 岩手県再生資源利用認定製品制度による認定	循環型地域社会形成推進事業費	廃棄物等の再生資源を利用し、一定の基準を満たす優良なリサイクル製品を認定し、廃棄物の減量や資源の有効利用等を促進する。	新たに2製品の認定を行った。	事業者に働きかけて認定製品の拡大を図るとともに、認定製品の優先利用を啓発する。	引き続き、認定制度の普及を図り、プラスチックごみの削減に資する取組を支援する。	資源循環推進課
(カ) 産業・地域ゼロエミッション推進事業	循環型地域社会形成推進事業費	事業者における廃棄物の3Rを支援するため、コーディネーターによる助言や、取組に要する経費への補助を行う。	プラスチック再商品化事業者開拓支援事業のメニューを新たに創設し、県内で製品プラスチックのマテリアルリサイクルに取り組む事業者を育成。	プラスチック再商品化事業者開拓支援事業により、県内で製品プラスチックのマテリアルリサイクルに取り組む事業者を引き続き支援。	引き続き、事業者への助言や補助事業の実施により、プラスチックごみの削減に資する取組を支援する。	資源循環推進課
(キ) 農業用廃プラスチックの適正処理の推進	-	農協、市町村及び県等で構成する各地域協議会等が中心となり、農業廃プラスチックの組織的な回収、適正処理に向けた取組みを実施。	各地域協議会等において、農業者に対して適正処理にかかる啓発資料の配布や指導を実施。	各地域協議会等において、農業者に対して適正処理に係る啓発資料の配布や指導を実施。	適切な処理が実施されるよう、引き続き各地域協議会等と連携し、分別の徹底と回収を指導していく。	農産園芸課
<b>エ ごみ等の投棄の防止等</b>						
(ア) クリーンいわて運動の実施	循環型地域社会形成推進事業費	地域におけるボイ捨てや不法投棄の防止、清掃活動の実施による快適な生活環境の保全などに取り組む県民運動としてクリーンいわて運動を推進する。	クリーンいわて行動の日として6月5日に清掃活動を実施し、職員88名が参加した。（7月は雨天により中止）	クリーンいわて行動の日として6月5日に清掃活動を実施し、職員65名が参加した。	引き続き、地域の環境美化及び環境保全のため、全県での運動を推進する。	資源循環推進課
(イ) 不法投棄監視パトロールの実施	廃棄物適正処理監視等推進費	警察署、海上保安部、市町村、一般社団法人岩手県産業資源循環協会等と連携した不法投棄監視パトロール等を実施する。	合同会議及びパトロールを実施した。	合同会議及びパトロールを実施した。	引き続き、関係機関と連携して不法投棄防止のための効果的な監視等の方策を検討するとともに不適正処理の早期発見、早期対応に努める。	資源循環推進課
(ウ) 青森・秋田・宮城県境合同会議・合同パトロールの実施	廃棄物適正処理監視等推進費	隣県との情報共有を図るとともに、合同でのパトロールを実施する。	合同会議及びパトロールを実施した。	青森県、秋田県及び宮城県と合同で会議及びパトロールを実施した。	引き続き、関係機関と連携して不適正処理の早期発見、早期対応に努める。	資源循環推進課
(エ) 産業廃棄物適正処理指導員（産廃Gメン）による活動	廃棄物適正処理監視等推進費	産業廃棄物適正処理指導員（産廃Gメン）による監視指導及び産業廃棄物の適正処理の普及啓発を行う。	産廃Gメン11名を各振興局に配置し、パトロールや施設への立入検査等の監視指導、普及啓発を行った。	産廃Gメン11名による監視指導、普及啓発を継続して実施。	引き続き監視指導を行い、不適正処理の早期発見、早期対応に努めるとともに適正処理の普及啓発を行う。	資源循環推進課
エ ごみ等の水域等への流出又は飛散の防止	-	県が所有・管理する土地において、ごみが流出、飛散しないよう適切に管理する。	管理施設等において、適切にごみの処分を行っている。	管理施設等において、適切にごみの処分を行っている。	市町村等との連携により、県民の理解促進に努める。	資源循環推進課
オ 流木等の水域等への流出の防止	河川海岸等維持修繕	河川内の支障木の伐採を行う。	県内管理河川において支障木の伐採を実施。	令和6年度に引き続き、閉伊川などにおいて支障木の伐採を実施。	支障となる樹木を伐採する等適正な維持管理を行う。	河川課



岩手県の海岸漂着物対策の取組状況一覧

項目	事業名	取組の概要	令和6年度の取組実績	令和7年度の取組内容	今後の対応方針、課題	関係課
<b>(3) 環境学習・普及啓発</b>						
ア 環境学習	いわての優れた環境を守る人づくり事業費	環境問題に関する研修会の実施により、地域で中心となって活動する環境人材を発掘・育成する。	全6回の講座を開催し、延べ178名が参加・20名が修了した。	環境に関する全6回の講座を開催し、新たな環境人材を発掘・育成する。(11月末時点で5回開催)	若者の環境関連人材の発掘及び育成を図るため、引き続き集合開催とオンライン開催を併用して実施する。	環境生活企画室
	環境学習交流センター管理運営費	環境学習の拠点施設である環境学習交流センターにおいて、環境学習や環境保全活動の支援を行う。	・環境活動に関する専門家である環境アドバイザーを派遣し、地域における環境学習及び環境保全活動を支援した。(派遣回数231回)	・環境アドバイザーを派遣し、環境学習及び環境保全活動を支援	引き続き、環境学習講座の開催や環境アドバイザーの派遣等により、環境学習や環境保全活動を支援する。	環境生活企画室
イ 普及啓発	海岸漂着物等地域対策推進事業費	海に流出するごみを抑制するため、各種広報や普及啓発事業を通じて、海洋ごみ問題に係る県民の理解向上や多様な主体の参画の促進に取り組む。	・県教育委員会事務局と連携し、海洋ごみ啓発パンフレットを、約10,000部(県内の小学6学年生全員を対象)紙ベースで小学校に配布。 ・資源循環推進課と水産振興課連名で、海洋ごみ啓発パンフレットを作成、約1,200部を漁協役員や漁業者へ紙ベースで配布。	・県教育委員会事務局と連携し、海洋ごみ啓発パンフレットを県内小学校にデータで配布。 ・海洋プラスチック汚染及び県内の活動団体の取組について周知するページを岩手県ホームページ内に新設。 ・昨年度同様、海洋ごみ啓発パンフレットを岩手県漁連を通じて約380部を漁業者へ紙ベースで配布。	・県民に対し、海洋ごみに対する問題意識について定着を図るとともに、地域の取組事例の共有によって、課題解決に向けた活動への参加を促す。 ・パンフレットも活用しながら、地域と連携した環境学習に取り組むとともに、取組状況の情報発信を通じて県民への波及を図る。	資源循環推進課 水産振興課
ウ 民間団体等との連携	環境学習交流センター管理運営費	県内各地域の環境保全活動等の連携交流を促進するため、フォーラムを開催する。また、流域単位の連携交流事業を行い、協働取組や活動を促す。	「水と緑の交流フォーラム(意見交換会)」を開催(R6:1回(11/30、盛岡市))。	「水と緑の交流フォーラム(意見交換会)」を開催(R7:1回(11/29、盛岡市))。	県内各地域の環境保全活動等の連携交流を促進するため、継続してフォーラムを開催する。	環境生活企画室
<b>(4) 多様な主体の適切な役割分担と連携の確保</b>						
<b>(5) その他</b>						
ア モニタリングの実施	-	海岸漂着物等の組成及び存在量並びにこれらの経年変化を把握するために定期的な調査を行う。	・県内海岸における海岸漂着物等の回収・処理状況調査 ・沿岸5地区での定点調査 ・環境保健研究センターとの連携により、県内海域のマイクロプラスチックのモニタリング調査を実施	左記の調査に加えて、環境保健研究センターとの連携により、県内海域のプラスチックごみの調査を実施。	海洋ごみの状況を把握するためには、継続的な調査の実施が必要。調査結果は効果的な発生抑制対策等の検討等に活用する。	資源循環推進課
イ その他	-	-	-	-	-	-

## 海洋ごみ回収活動（ごみ拾い等清掃活動）に係る状況（令和7年4月～12月）

## 【清掃活動】

活動場所	主催者	活動日	具体の活動エリア	参加構成（主催者以外）	参加者数	回収量	主な組成	出典
岩手町	岩手町公衆衛生連絡協議会	春季：令和7年6月1日 秋季：令和7年9月7日	町内全域（北上川流域）	町民（町内81自治振興会）	成人 春季 約2,000人 秋季 約1,800人	45ℓポリ袋 春季 約200袋 秋季 約140袋	可燃 約270袋 不燃 約70袋	市町村報告
雫石町	御所湖の清流を守る会	春季：6月1日（日） 秋季：10月5日（日）	雫石川流域から御所湖周辺	老人クラブ、子ども会等10団体	春季 208人 秋季 160人	春季：210kg 秋季：190kg	缶、ペットボトル、タイヤ、塩化ビニール、消火器等	市町村報告
大船渡市	碁石海岸観光施設等連絡会議	令和7年4月18日	碁石海岸（碁石浜、えびす浜、大浜）	碁石海岸観光施設等連絡会議	成人 30人	45ℓポリ袋 約20袋	-	市町村報告
大船渡市	吉浜まちづくり振興会	令和7年6月29日	吉浜海岸	-	計72人	-	流木等	市町村報告
大船渡市	岩手県産業資源循環協会	令和7年7月9日	吉浜海水浴場	-	成人 50人	45ℓポリ袋 15袋	-	市町村報告
大船渡市	越喜来活性化協議会 環境部会	令和7年7月13日、 9月23日	浦浜海岸、鬼沢漁港	-	累計46人	-	-	市町村報告
大船渡市	碁石会	令和7年7月26日	碁石海岸、えびす浜	-	成人 24人	45ℓポリ袋 3袋	-	市町村報告
大船渡市	大船渡地区支えあい協議会	令和7年8月20日	夢海公園からサンアンドレス公園付近まで、野々田埠頭防潮堤の海側等	-	成人 12人	45ℓポリ袋 8袋	燃えるゴミ、空き缶等	市町村報告
大船渡市	港友会	令和7年10月4日	大船渡町キャッセン親水護岸付近	-	成人 27人	45ℓポリ袋 7袋	-	市町村報告
大船渡市	赤崎海づくり少年団	10月29日（水）	外口海岸	大船渡市漁協、大船渡水産振興センター、市水産課	成人 7人 学生 24人	45ℓポリ袋 5袋分	プラスチック類：5割 ビニール紐等：3割 流木2割	市町村報告
遠野市	株式会社オサダ 岩手事業所	令和7年4月19日（土）	遠野市運動公園周辺、仙人峠、笛吹峠、事業所周辺	佐藤工業(株)、(株)ブラテック、(有)遠野環境企画	成人 60人	不燃ごみ250kg、 不適ゴミ140kg	空き缶、空き瓶、廃タイヤ、 家具、家電等	市町村報告
遠野市	田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会実行委員会	令和7年4月20日（日）	猿ヶ石川中流「田瀬湖（田瀬ダム）」周辺	田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会（構成20団体）	成人 92人	不燃ごみ370kg、可燃ごみ 370kg、不適ゴミ50kg	空き缶、空き瓶、ペットボトル、 発泡スチロール、廃プラ 類、段ボール等紙ごみ、廃 タイヤ、ポリタンク、塩ビ管等	市町村報告
紫波町	水辺の友の会	年5回予定	太田川、岩崎川	-	成人15人	-	-	市町村報告
紫波町	川を守る会前郷	年6回予定	宮手川、五内川	-	成人17人	-	-	市町村報告
西和賀町	西和賀町公衆衛生組合連合会	4月～6月	町内全域	各地区公衆衛生組合 27か所（29か所のうち）	成人1,121人	-	○可燃ごみ（プラスチック、 ペットボトル含む）、 ○不燃ごみ（空き缶、空き 瓶、その他不燃物）	市町村報告
二戸市	二戸保健福祉環境センター	6月11日	二戸地区合同庁舎から二戸駅までの区間	二戸市役所職員	成人 90人（内市職員37人）	6.0kg	可燃ごみ 4.3kg、不燃ごみ 0.7kg、缶・ビン 1.0kg	振興局報告

葛巻町	葛巻町公衆衛生部会	令和7年7月13日(日)	馬淵川等	町内27自治会	-	-	-	市町村報告
一関市	一関市(春と秋の一斉清掃)	4月20日(日)、10月19日(日)	一関市内全域	市内事業所含む一関市民に取り組んでいただいているもの	4月20日(日) 19,963人 10月19日(日) 19,277人	4月20日(日) 約19,465kg 10月19日(日) 約7,245kg	4月20日(日) 燃やすごみ 約15,265kg 燃やせないごみ 約4,200kg 10月19日(日) 燃やすごみ 約4,800kg 燃やせないごみ 約2,445kg	市町村報告
一関市	一関市・岩手県(きれいなまちをめざし隊)	5月28日(水)一関・花泉・大東・千厩・藤沢地域 5月29日(水)室根地域 5月30日(木)東山地域 6月4日(水)川崎地域	一関市役所(支所、出先機関含む)周辺	岩手県職員	一関市職員794人 岩手県職員(県南広域振興局、病院)104人 合計898人	約270kg	燃やすごみ 約185kg 燃やせないごみ 約85kg	市町村報告
釜石市	2025年根浜海岸海遊び実行委員会	令和7年7月12日(土)	根浜海岸	(一社)根浜MIND、宝来館、釜石ライフセービングクラブ、沿岸広域振興局土木部	成人約15人	海ゴミ用袋(レジ袋大)約15袋	木くず、ペットボトル、プラスチックごみ、空き缶等	市町村報告
釜石市	かまいし環境ネットワーク	9月27日	桐島海岸	・釜石環境ネットワーク ・会場保安庁 ・新菱和運送 ・ロータリークラブ(釜石・釜石東) ・国際ソロプチミスト釜石ハマギク	・成人 15人 ・学生 5人	約80kg	発泡スチロール、ペットボトル、缶	市町村報告
宮古市	三王・真崎をきれいにする会、浄土ヶ浜をきれいにする会 宮古市三陸ジオパーク推進協議会、宮古市(共催)一般社団法人海と日本プロジェクトin岩手	令和7年7月5日(土)、7月12日(土)	7月5日(土) 三王・真崎地区、女遊戸海水浴場 7月12日(土) 浄土ヶ浜園地、藤の川海水浴場	市民及び関係者(関係団体、自然公園保護管理員等)	7月5日(土) 三王・真崎地区101名、女遊戸海水浴場42名 7月12日(土) 浄土ヶ浜園地170名、藤の川海水浴場49名	各地域にて、数袋	燃えるごみ、木くず等	振興局報告
宮古市	八木沢川を守り育てる会	令和7年7月28日(月)	八木沢川	磯鶏小学校 小学生及び保護者(夏休み子供会行事)	小学生10名、保護者5名	少量	燃えるごみ、ペットボトル等	振興局報告
宮古市	漂着ゴミ回収ネットワーク	R7.4.12赤前、6.21金浜、6.30千鶴、7.6種刺、7.12小港、7.12藤の川、7.12白浜、7.13日出島、7.13重茂灯台の裏浜、7.17姉ヶ崎、7/18女遊戸、8.7堰内、8.16平井賀、8.30白浜、10.24姉吉、11.1白浜、11.2カマヤ、11.2沢尻、11.2小港、11.2沼の浜、11.6にどい浜、11.6水沢・摂待	R7.4.12赤前、6.21金浜、6.30千鶴、7.6種刺、7.12小港、7.12藤の川、7.12白浜、7.13日出島、7.13重茂灯台の裏浜、7.17姉ヶ崎、7/18女遊戸、8.7堰内、8.16平井賀、8.30白浜、10.24姉吉、11.1白浜、11.2カマヤ、11.2沢尻、11.2小港、11.2沼の浜、11.6にどい浜、11.6水沢・摂待	ゴミ拾い・投入：一般市民、漁業者 回収拠点設置・回収：ネットワーク会員等	ネットワーク会員3名等が上記清掃活動日に回収	各回数+kg	プラ・金属・漁具等	振興局報告
二戸市	二戸市	4月19日(土)	馬仙峡公園周辺 ※クリーン作戦の1地区として(馬淵川水系馬淵川沿い)	※馬仙峡公園参加団体等 (南)荒谷建設、北岩手圧送機、(南)北福岡建設、昭和建設工業機、(南)沼井建設、(南)高峰重機、(南)目時建設、(南)水機テクノス、SWS東日本機、(南)丹野組、(南)エアテック、県北広域振興局、二戸広域清掃業協同組合	成人 88人	-	-	市町村報告
北上市	北上市公衆衛生組合連合会	10月4日(土)	北上市内	-	成人 108人	可燃ごみ40kg、不燃ごみ10kg	空き缶、空き瓶、ペットボトル、金属くず、たばこ、ライター等	市町村報告
田野畑村	田野畑小学校	9月25日(木)	明戸海岸	羅賀自治会	・成人 5人 ・学生 18人(田野畑小学校3年生児童)	450袋 5袋分	プラスチック類 4袋、空き缶 1袋	市町村報告



花巻市	花巻市	4/13、6/22、9/28	花巻市	<p>4/13 花巻市内各地域</p> <p>6/22 花巻市内各地域</p> <p>9/28 花巻市内各地域</p>	<p>4/13・成人 15,881人 ・学生 533 人</p> <p>6/22・成人 14,520 人 ・学生 487 人</p> <p>9/28・成人 13,609 人 ・学生 1,415 人</p>	<p>4/13 25,317 6/22 16,765 9/28 18,315</p>	<p>4/13 可燃ごみ（プラスチック等） 2,425袋 不燃ごみ（鉄くず）571袋 （缶・ビン）369袋 汚泥1,149袋</p> <p>6/22 可燃ごみ（プラスチック等） 2,859袋 不燃ごみ（鉄くず）201袋 （缶・ビン）113袋 汚泥396袋</p> <p>9/28 可燃ごみ（プラスチック等） 3,315袋 不燃ごみ（鉄くず）293袋 （缶・ビン）141袋 汚泥318袋</p>	市町村報告
花巻市	花巻市	<p>4/13、4/20、4/27、5/8、 5/10、5/15、5/31、6/10、 6/15、6/22、6/26、7/10、 7/25、7/27、8/3、8/10、 8/24、8/27、8/29、9/28、 10/5、10/10、10/26、 10/28、11/9、11/14</p>	花巻地域内河川 （旧瀬川、後川、新川、藤沢川、龍堰川）	<p>(4/13) 旧瀬川美化協議会、龍堰川美化推進協議会、坂本町自治会 (4/20) 藤沢町振興会 (4/27) 小舟渡自治会 (5/8) 龍堰川美化推進協議会 (5/10) 龍堰川美化推進協議会 (5/15) 旧瀬川美化推進協議会 (5/31) 旧瀬川美化推進協議会 (6/10) 龍堰川美化推進協議会 (6/15) 小舟渡自治会 (6/22) 旧瀬川美化協議会、龍堰川美化推進協議会、坂本町自治会 (6/26) 龍堰川美化推進協議会 (7/10) 龍堰川美化推進協議会 (7/25) 旧瀬川美化協議会 (7/27) 藤沢町振興会 (8/3) 龍堰川美化推進協議会 (8/10) 小舟渡自治会、龍堰川美化推進協議会 (8/24) 旧瀬川美化協議会、坂本町自治会 (8/27) 龍堰川美化推進協議会 (8/29) 旧瀬川美化協議会 (9/28) 旧瀬川美化協議会、龍堰川美化推進協議会 (10/5) 小舟渡自治会、藤沢町振興会 (10/10) 龍堰川美化推進協議会 (10/26) 旧瀬川美化協議会、坂本町自治会 (10/28) 龍堰川美化推進協議会 (11/9) 小舟渡自治会 (11/14) 藤沢町振興会</p>	<p>(4/13) 成人88人 (4/20) 成人14人 (4/27) 成人31人 (5/8) 成人8人 (5/10) 成人7人 (5/15) 成人2人 (5/31) 成人2人 (6/10) 成人10人 (6/15) 成人34人 (6/22) 成人84人 (6/26) 成人7人 (7/10) 成人9人 (7/25) 成人2人 (7/27) 成人11人 (8/3) 成人2人 (8/10) 成人42人 (8/24) 成人14人 (8/27) 成人11人 (8/29) 成人2人 (9/28) 成人65人 (10/5) 成人39人 (10/10) 成人8人 (10/26) 成人11人 (10/28) 成人8人 (11/9) 成人5人 (11/14) 成人8人</p>	1,550kg	<p>可燃ごみ669kg 不燃ごみ8kg その他（汚泥等）873kg</p>	市町村報告
花巻市	花巻まつり実行委員会美化清掃部	9/13、9/14、9/15	花巻まつり交通規制区内	-	成人4人	<p>9/13 450袋 5袋分 9/14 450袋 4袋分 9/15 450袋 6袋分</p>	<p>9/13 可燃ごみ（プラスチック等）4 袋 不燃ごみ（缶等）1袋</p> <p>9/14 可燃ごみ（プラスチック等）3 袋 不燃ごみ（缶等）1袋</p> <p>9/15 可燃ごみ（プラスチック等）5 袋 不燃ごみ（缶等）1袋</p>	市町村報告
花巻市	豊沢川活性化・清流化推進協議会	8月3日	豊沢川	岩手県南広域振興局土木部花巻土木センター、花巻市、花巻商工会議所、花巻工業クラブ、（一社）花巻青年会議所、豊沢川土地改良区	成人・学生600人	80kg	<p>可燃ごみ（廃プラスチック等）40kg 不燃ごみ（缶・ビン等）40kg</p>	市町村報告
久慈市	久慈市・久慈市衛生班連合会	令和7年4月20日 令和7年10月19日	海岸、河川を含む市内全域 （各町内会等がそれぞれ設定）	各町内会等	<p>(4/20) 5,513人 (10/19) 5,085人</p>	-	-	市町村報告

久慈市	久慈市	実施日：令和7年8月4日 (月) 予備日：令和7年8月6日 (水)	スタート・ゴール地点：久慈市ふなどレストハウス エリア：二子漁港～五丈の滝	協力：一般社団法人日本スポーツGOMI連盟、公益社団法人B&G財団 参加：久慈ボニーSAMURAI FUTURES（久慈中学校・宇部中学校生徒在籍）、寺里スポーツ少年団（久慈小学校生徒在籍）、久慈フアイヤーズスポーツ少年団（久慈小学校・久慈湊小学校生徒在籍）、久慈高等学校、野田小学校、三船十段記念館（野田小学校・長内小学校・長内中学校生徒在籍）、長内中学校文化芸能部 計14チーム	成人学生 13人 35人	50.82kg	燃えるゴミ17.66kg、燃えない ゴミ16.49kg、ビン／缶12.29 kg、ペットボトル4.13kg、た ばこ吸殻0.25kg	市町村報告
久慈市	久慈市役所山形総合支所	5月28日	平庭高原道路及び関係駐車場等周辺	-	成人 19人	燃えるゴミ 45ℓポリ袋 2袋分 燃えないゴミ 45 ℓポリ 袋 1袋分 空き缶・空きビン45 ℓポリ 袋 1袋分	-	市町村報告
九戸村	九戸村	4月12日	村内道路	九戸村民	成人 500人	45cm×80cmゴミ袋 70袋	空き缶40袋 プラスチック類30袋	市町村報告
釜石市	沿岸広域振興局保健福祉環境部	令和7年6月4日（水）	釜石市内（内陸部・合同庁舎周辺の道路等）	沿岸広域振興局、釜石公共職業安定所、釜石市水道事業所、釜石地域こころのケアセンター	成人 80人	7.93 kg	可燃物、缶、ビン	振興局報告
久慈市	夏井川堤の景観を創る会	6/7、7/5	久慈市夏井町夏井第3地割内、夏井川河川敷、市道他	夏井市民センター	6/7成人19人、小学生4人 7/5成人9人	6/7 30ℓ袋 1袋分 7/5 30ℓ袋 1袋分	ビニール袋、プラスチック 類、空き缶	振興局報告
久慈市	くじ・川の会	6/14 11月予定の清掃活動はクマ出 没につき中止（中の橋～上の 橋）	久慈川河口	一般参加者、関係機関	成人23名（川の会13名、 一般10名）	ゴミ袋（中）44袋	燃えるゴミ28袋 プラスチック類トレイ類 燃えないゴミ16袋 缶類・ビン類	振興局報告
矢巾町	北上川矢巾地区愛護協議会	4/19、10/18	北上川河川沿い	矢巾町	成人20人	-	-	市町村報告
山田町	浄土ヶ浜ビクターセンター	12月13日	山田町 船越半島 寄り浜	-	27人	中型トラック1台分	プラスチック、漁具等	海と日本プロジェクト
岩泉町	浄土ヶ浜ビクターセンター	12月6日	岩泉町 須久洞浜	地域住民、関係者	25人	-	ペットボトル、発泡スチロー ル、漁具等	海と日本プロジェクト
一戸町	御所野縄文公園秋のクリーンデー	11月8日	御所野縄文公園	町内外14の団体、企業、一般	235人	-	落ち葉等	海と日本プロジェクト
-	NPO法人北上川サポート協会	10月19日	北上川	-	16人	-	ビニール、カヤ、一緒に流れ てきたゴミ	海と日本プロジェクト
久慈市	久慈港環境美化協会	10月27日	久慈港諏訪下地区及び半崎地区周辺	東北地方整備局釜石港湾事務所久慈出張所、県北広域振興局土木部、市港湾エネルギー推進課、生涯学習課、地元町内会・老人クラブ	76人	-	可燃ごみ、不燃ごみ	海と日本プロジェクト
矢巾町	北上川矢巾地区愛護協議会	10月18日	矢巾町 矢巾地区 北上川河川敷（矢巾町高田 ～東徳田）	櫛水清建設、櫛佐々木組、タカヨ建設櫛、矢巾ライオンズクラ ブ、他地域	39人	-	可燃ごみ、空き缶、瓶、ペッ トボトル容器	海と日本プロジェクト
野田村	岩手県産業資源循環協会 県北支 部	10月15日	野田村 十府ヶ浦海岸	-	24人	-	-	海と日本プロジェクト
宮古市	公益社団法人宮古市シルバー人材 センター	10月10日	宮古市浄土ヶ浜周辺	-	45人	-	釣りのゴミ、漂流物等	海と日本プロジェクト
盛岡市、雫 石町	御所湖の清流を守る会	10月5日	御所湖周辺	-	657人	盛岡市で約220kg 雫石町で約190kg	紙、プラスチック、ペット ボトル、缶、タイヤなど	海と日本プロジェクト
釜石市	かまいし環境ネットワーク	9月27日	両石湾桐島海岸	-	35人	約80kg	プラスチックごみ等	海と日本プロジェクト



野田村	野田村むらづくり運動推進協議会	9月28日	野田村内全域	村民	1454人	-	-	海と日本プロジェクト
普代村	普代村公衆衛生班連合会	9月3日	黒崎漁港～ネダリ浜	-	30人	-	ロープの切れ端、ペットボトル	海と日本プロジェクト
洋野町	久慈地域公衆衛生組合連合会、洋野町公衆衛生組合連合会	8月30日	洋野町種市地内 「種市海浜公園」周辺	-	18人	-	-	海と日本プロジェクト
久慈市	久慈市職員厚生会	9月6日	久慈市内（久慈駅前、市街地、市役所周辺）	-	135人	-	-	海と日本プロジェクト
久慈市	久慈市衛生班連合会	8月30日	地下水族科学館もぐらんぴあ周辺	三陸ジオパーク推進協議会北部ブロック会議、県北広域振興局、地下水族科学館もぐらんぴあ	27人	-	細くなった発泡スチロール状のもの	海と日本プロジェクト
岩泉町	岩泉地域活動推進センター	8月18日	岩泉町小本地区の茂師海岸		18人	-	アミや錆びたガスボンベ、電線、工事の材料など	海と日本プロジェクト
大槌町	岩手県建築住宅センター	7月20日（日）	吉里吉里海岸	地元住民	5人	-	-	海と日本プロジェクト
大槌町	吉里吉里地区教育振興実践協議会	7月20日	大槌町吉里吉里海岸清掃	地域の小中学生、保護者、高校生、企業の方、地域住民の方、釜石海上保安部	300人	-	-	海と日本プロジェクト
北上市	和賀川の清流を守る会	7月17日	湯田貯砂ダム付近、焼 地 台 公園	-	72人	可燃ごみ 10kg 不燃ごみ 10 kg のごみ	ペットボトル や 空き缶 等	海と日本プロジェクト
岩泉町	岩泉地域活動推進センター	7月19日	岩泉町龍泉洞青少年旅行村周辺	-	65人	-	錆びた鉄片、ビニール袋、木の枝など	海と日本プロジェクト
久慈市	久慈市立小袖小学校	7月25日	小袖海岸 かづま浜海水浴場	-	31人	-	釣り道具のごみ、空き缶やペットボトル	海と日本プロジェクト
宮古市	三王・真崎をきれいにする会、浄土ヶ浜をきれいにする会、宮古市三陸ジオパーク推進協議会、宮古市	7月5日、7月12日	宮古市 三王・真崎地区、女遊戸海水浴場、浄土ヶ浜園地、藤の川海水浴場	-	362人	-	ペットボトル、ビン缶、プラスチック、漁具、発泡スチロール、鉄くず、紙くず、吸殻、ビニール袋、流木・海藻：細かい木切れ、浜に上がった藻	海と日本プロジェクト
大船渡市	一般社団法人岩手県産業資源循環協会	7月9日（水）	大船渡市 吉浜海水浴場	-	52人	-	流木や海産物など	海と日本プロジェクト
岩泉町	特定非営利活動法人 岩泉地域活動推進センター	6月28日（土）	岩泉町乙茂地区	-	13人	-	特定外来生物（植物）のアレチウリ ビニール袋や空き缶	海と日本プロジェクト
田野畑村	NPO法人 体験村・たのはたネットワーク	6月14日（土）	田野畑村 鶴の巣断崖	-	27人	-	発砲や鉄くず、ブラ、ペットボトル	海と日本プロジェクト
一関市	一関市	5月28日（水）、5月29日（木）、5月30日（金）、6月4日（水）	一関市役所本庁、支所周辺	-	898人	-	-	海と日本プロジェクト
岩泉町	NPOばあとなあ	6月7日（土）	岩泉町大川地区の堺ノ神岳	-	31人	-	古いテープ、数十年前と思われる瓶のかげらなど	海と日本プロジェクト
盛岡市	岩手県環境生活部資源循環推進課	6月5日	盛岡市街地、中津川河川敷、盛岡城跡公園、県民センター周辺	-	83人	-	-	海と日本プロジェクト
盛岡市	御所湖の清流を守る会	6月1日（日）	御所湖周辺	-	600人	盛岡市で約310kg 雫石町で約210kg	紙、プラスチック、ペットボトル、缶、タイヤや看板などの大型ごみ	海と日本プロジェクト
盛岡市	盛岡市	5月30日（金）	盛岡市役所・都南分庁舎・玉山総合事務所周辺	-	164人	-	-	海と日本プロジェクト
盛岡市	もりおか健康ウォーク実行委員会	6月1日（日）	盛岡城跡公園～盛岡市中心部	（一社）海と日本プロジェクトin岩手、（株）ユニバース、（株）岩手銀行	113人	-	-	海と日本プロジェクト

宮古市	浄土ヶ浜をきれいにする会	4月12日	宮古市浄土ヶ浜園地	-	145人	-	家庭用品、看板、流木など	海と日本プロジェクト
山田町	山田町役場町民課	5月25日	町内全域	山田町民、山田町防犯隊	125人	可燃ごみ100kg 不燃ごみ50kg	空き缶、空きびん、鉄くず、 タイヤ（一輪車）、廃プラ、 漁具、木材	海と日本プロジェクト
一関市	北上川サポート協会	4月27日	北上川、県道薄衣舞川線	-	46人	-	ビニールやカヤ、袋に入れられて 捨てられたゴミや布団など	海と日本プロジェクト
矢巾町	北上川矢巾地区愛護協議会（特 定非営利活動法人やはば協働セン ター）	4月19日	矢巾地区 北上川河川敷	榊水清建設、榊佐々木組、タカヨ建設榊、矢巾ライオンズクラ ブ	63人	-	可燃ごみ、空き缶や瓶、ペットボ トル容器、消化器	海と日本プロジェクト
花巻市	北上川フィールドライフクラブ	4月13日	花巻市南大橋北上川 河川敷周辺	-	88人	-	カン、ペットボトル、瓶、ビニー ルといった細かなゴミ	海と日本プロジェクト
盛岡市	北上川ダム総合管理事務所（四十 四田ダム）	4月10日	盛岡市下厨川字四十四田1（四十四田ダム）	-	75人	-	-	海と日本プロジェクト
釜石市	かまいし環境ネットワーク	4月5日	釜石市中妻町地内甲子川左岸	一般市民、岩手県沿岸広域振興局、釜石市、（有）新菱和運 送、釜石ロータリークラブ、東ロータリークラブ、（公財）国 際ソロプチミスト釜石はまぎく、 釜石海上保安部、かまいし環境ネットワーク、中村屋、アット マークリアス、SMC	70人	約300kg	空き缶、金属類、プラスチック類 など	海と日本プロジェクト
岩泉町	安家地域振興協議会	4月13日	安家地区内	-	成人 150 人	可燃ごみ230kg	-	市町村報告
岩泉町	国境自治会	4月13日	国道340沿いの国境峠頂上～国境公民館	-	成人 16 人	-	-	市町村報告
岩泉町	栗畑落合自治会	4月20日	栗畑落合自治会管内の国道や町道沿い	-	成人 15 人	-	-	市町村報告
岩泉町	岩泉地域振興協議会	4月20日	各地区の道路等	-	成人 200 人	-	-	市町村報告
岩泉町	三田貝部落会	5月6日	準用河川三田貝川沿い（三田貝トンネル～権現ト ンネルまで）	-	-	-	-	市町村報告
岩泉町	特定非営利活動法人 岩泉地域活 動推進センター	6月7日	岩泉町大川地区の堺ノ神岳	-	成人 31 人	可燃袋1枚・不燃袋1枚	-	市町村報告
岩泉町	三陸鉄道株式会社	6月21日	小本海岸	-	成人 5 人	-	-	市町村報告
岩泉町	特定非営利活動法人 岩泉地域活 動推進センター	6月28日	岩泉町乙茂地区	-	成人 13 人	可燃袋20枚・不燃袋1枚	アレチウリの駆除など	市町村報告
岩泉町	特定非営利活動法人 岩泉地域活 動推進センター	7月19日	岩泉町龍泉洞青少年旅行村周辺	-	成人 65 人	可燃袋5枚・不燃袋5枚	-	市町村報告
岩泉町	特定非営利活動法人 岩泉地域活 動推進センター	8月18日	岩泉町小本地区の茂師海岸	-	成人 11 人 学生 7 人	可燃袋4枚・不燃袋3枚	-	市町村報告
岩泉町	特定非営利活動法人 岩泉地域活 動推進センター	9月14日	岩泉町乙茂地区	-	成人 13 人	可燃用450袋 20枚	アレチウリの駆除	市町村報告
岩泉町	浄土ヶ浜ビジターセンター	12月6日	岩泉町小本 須久洞浜	-	成人 25 人	総量40kg	-	市町村報告
奥州市	県南広域振興局保健福祉環境部	6月5日	水沢駅周辺、県南広域振興局本庁舎周辺	-	58人	燃えるゴミ2.5kg、不燃ごみ 0.9kg	燃えるゴミ、不燃ごみ	振興局報告
宮古市	宮古市市民協働課	5月17日 ～ 5月23日 10月18日 ～ 10月24日	市内全域	市内町内会・自治会	-	-	-	市町村報告



宮古市	みずき会	4月16日、5月13日、6月10日、6月24日、7月10日、10月14日、11月13日～16日、11月17日、11月25日～12月4日 8月、9月は猛暑のため全体作業は中止。各自随時の作業とした	宮古市中央通商店街区内（宮古市向町）	-	成人5～8人程度（毎回）	45ℓ×2袋程度（毎回）	雑草（40%）、枯れ葉（20%）、花がら（20%）、木くず（20%）	市町村報告
宮古市	宮古漁業協同組合	8月30日（土）	宮古港周辺	-	成人283人	45ℓ 700袋	自然物ごみ（草木）	市町村報告
宮古市	宮古市水産課（海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金）	8月から12月まで	宮古市水産課で管理する漁港海岸	請負者：宮古環境管理株式会社	-	46 t	流木、木くず他	市町村報告
宮古市	宮古道路をまもる会	6月10日（火）	宮古市中心市街地（うみどり公園から宮古消防署庁舎前広場）	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長 大泉隆是 宮古土木センター所長 佐藤高久 宮古警察署長 高橋和美 会長 宮古市長 山本正徳 副会長 宮古地区交通安全協会会長 城内愛彦 副会長 宮古商工会議所会頭 花坂康太郎 東北電力ネットワーク南宮古電力センター 株式会社ユアテック宮古営業所 宮古ドライビングスクール （一社）岩手県建設業協会宮古支部 宮古地区砂利業協同組合 宮古漁業協同組合 重茂漁業協同組合 田老町漁業協同組合 新岩手農業協同組合宮古支所 岩手県宮古地区建設業会 宮古市水道工事業協同組合 宮古地区電気工事業協同組合 宮古地区採石業協同組合 岩手県石油商業協同組合宮古支部 宮古地方森林組合 岩手県北自動車株式会社宮古営業所 岩手県トラック協会宮古支部 岩手県タクシー協会宮古支部 岩手県自転車二輪車商業協同組合宮古支部 宮古商工会議所 （一社）陸中宮古青年会議所 （一社）宮古観光文化交流協会 宮古岩手ライオンズクラブ 陸中宮古ライオンズクラブ 宮古ロータリークラブ 宮古地区交通安全協会 宮古市交通指導隊 宮古市交通安全母の会連合会 宮古市 宮古市議会 宮古市教育委員会 宮古市上下水道部 国土交通省三陸国道事務所 沿岸広域振興局土木部宮古土木センター 宮古警察署 宮古たばこ販売協同組合 株式会社本間組岩手営業所 SELP わかたけ 認定こども園宮古泉幼稚園	成人 111 人	20ℓ×10袋	紙、プラスチック、空き缶、ペットボトル 等	市町村報告
宮古市	田老地区自治会連合会	4月27日（日）	田老地区市街地	-	成人 355 人	可燃ごみ 140kg 不燃ごみ 150kg	可燃：木くず、汚れたペットボトル 不燃：缶、ビン	市町村報告
山田町	豊間根環境衛生連合会	4/27（日）、7/27（日）、10/5（日）	豊間根、荒川、石峠地区（豊間根川、荒川川）	-	-	可燃ごみ250kg 不燃ごみ110kg	空き缶、空きびん、自転車、紙くず、廃プラ（ペットボトル、発泡スチロール等）、鉄くず	市町村報告
山田町	観光協会・地域おこし協力隊	5/29（木）	関口神社奥宮参道	-	5人	可燃ごみ100kg 不燃ごみ80kg	空き缶、空きびん、廃プラ（ペットボトル、発泡スチロール等）、鉄くず、廃タイヤ	市町村報告
山田町	船越婦人会（船越湾女性部）	4/27（日）、6/22（日）、10/25（土）	前須賀海岸	-	約20人	可燃ごみ70kg 不燃ごみ50kg	空き缶、空きびん、廃プラ（漁具、ロープ、ペットボトル、発泡スチロール等）	市町村報告

山田町	山田町、東北電力ネットワーク宮古電力センター、浄土ヶ浜ビクターセンター	7月17日（木）、8月22日（金）、11月25日（火）、12月13日（土）	浦の浜海水浴場、荒神海水浴場、寄り浜	（7月17日（木）航空自衛隊山田分屯基地 （8月22日（金）航空自衛隊山田分屯基地、山田高等学校 （11月25日（火）東北電力ネットワーク宮古電力センター （12月13日（土）浄土ヶ浜ビクターセンター、一般	（7月17日（木）成人30人 （8月22日（金）成人30人、学生4人 （11月25日（火）成人25人 （12月13日（土）成人25人	450袋 43袋分	燃えるゴミ10袋、プラスチック類3袋、空き缶5袋、漁具25袋	市町村報告
八幡平市	八幡平市・公衆衛生組合連合会	7年4月13日（日）、4月19日（土）、4月20日（日）、4月27日（日）、5月25日（日）	八幡平市内各地域各自治会内地域（北上川水系松川、馬淵川系安比川、米代川）	各地区自治会（自治会数135）	成人 3,483人	6,500kg	燃えるごみ 4,680kg 燃えないごみ 1,820kg	市町村報告
八幡平市	八幡平市	8月7日（木）	八幡平市松尾B & G海洋センター周辺	市内小学3年生から6年生	職員等 6人 学生 6人	レジ袋一杯程度	プラスチック類	市町村報告

（上記内容は、各市町村・振興局への照会への回答及び海と日本プロジェクトのホームページ上での活動報告を基に作成。）

[イベント | 海と日本PROJECT in 岩手 \(https://iwate.uminohi.jp/event/\)](https://iwate.uminohi.jp/event/)

累計参加者数 約116,823 人

## 海岸漂着物等地域対策推進事業について

## 1 概要

「岩手県海岸漂着物対策推進地域計画」の基本方針に基づき、海岸漂着物の円滑な処理や効果的な発生抑制等の対策として、市町村への支援、普及啓発の取組等を実施するもの。

## 2 令和7年度の取組状況

## (1) 岩手県海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金

## ア 趣旨

市町村等が行う海岸漂着物対策の取組を支援するため、海洋ごみの回収・処理や発生抑制対策に要する経費に対する補助を行う。(補助率 7/10 (過疎地域 8/10)、定額)

## イ 令和7年度の実施市町村

6自治体(大船渡市、陸前高田市、宮古市、山田町、大槌町、田野畑村)に対し交付決定。

## (2) 海洋ごみ対策啓発パンフレット

## ア 趣旨

海洋ごみ問題への県民(主に小学生)の理解向上を通じて、陸域から海に流出するごみの抑制を図る。

## イ 取組状況

海洋ごみの由来や影響、一人ひとりがとるべき行動等について解説したパンフレットを県内小学校にデータ配布し、タブレット端末を用いた環境学習に活用を呼びかけ。

## (3) 岩手県立大学と連携した清掃活動を見える化するシステムの研究

## ア 趣旨

岩手県立大学では、海洋ごみ問題の主たる要因の一つであるポイ捨てごみに着目し、市民の清掃活動の成果を可視化するためのシステム「[minoru イワテ](#)」を開発し、令和7年度に試験運用を行った。研究の目的は、地域のボランティアによるごみ回収活動を可視化するアプリケーションの開発によって、県民の清掃活動への参画のしやすさにつなげること、また県民に対する情報発信や教育機関での教材活用等を通じて、海洋プラスチック汚染問題に対する意識啓発、理解の深化などにつなげることである。岩手県は、研究協力者として、システムの改善提案や試験利用に向けた一般の方への周知等を実施した。



## イ 取組結果

岩手高校の生徒ら6団体にシステムを試験利用いただき、成果を日本経済新聞社主催の展示会エコプロ2025で発表。(概要は別紙1のとおり)

### (4) 漁業者向け普及啓発

県環境生活部資源循環推進課と農林水産部水産振興課が連名で啓発チラシ(別紙2)を作成。

### (5) その他

- ・ プラスチックごみの削減に取り組む県内企業・店舗を対象として、「いわてプラごみ削減協力店」として登録する制度を引き続き運用。  
令和8年1月7日時点で187店舗が登録し、プラスチック削減の取組を実施。
- ・ 県内でのプラスチックの製品プラスチックのリサイクル事業者育成を目的として、「プラスチック再商品化事業者開拓支援事業」を実施し、令和7年度は3事業者に対して再商品化の実証に係る経費を補助。
- ・ 県民に向けて[海洋プラスチック汚染問題について啓発するウェブページ](#)を岩手県ホームページ内に新設し、生態系への影響や県内の取組等を紹介。
- ・ 環境保健研究センターにおいて、かんぼけん一般公開2025による海洋ごみをテーマとした体験コーナー、展示を実施。



いわてプラごみ削減協力店チラシ



minoru イワテトップページ



かんぼけん一般公開 2025 海洋ごみ体験コーナー



富澤研究室



minoru.iwate

あつ ちから  
**集まると力になる！**  
せいそう み  
**清掃データで見えるまちのストーリー**



ソフトウェア情報学部 富澤浩樹  
株式会社Badass 田中裕也  
岩手県環境生活部 資源循環推進課

ちい ひろ  
**小さすぎて拾えない マイクロプラスチック**



みち  
道ばたのプラスチックごみは、  
あめ かわ なが うみ つ  
雨で川に流れこみ、海に着くころには  
とても小さなかけらになるよ。  
これがマイクロプラスチックです。  
うみ の い も の にも え い き ょ う が 出 る ん だ 。  
川につながる町のごみをへらせば、  
この流れを止められる！  
だから、地域の清掃活動が大事  
なんだよ。

せいそう  
**清掃のデータって、**  
みらい か  
**未来を変える**  
**ヒントになるって**  
し  
**知ってた？**

かわ まち  
川や町でゴミをひろうとき、“いつ”やったかを記録すると、  
あつ なか  
集まったデータの中から「ゴミが多い時期」や  
「清掃が足りない場所」などがみえてくるよ。  
この“時間のデータ”は、まちをよくする計画づくりや、  
みんなが使うアプリの改良にも役立ちます。  
あなたが見つけたことが、みらい いわて  
未来の岩手をもっとよくする力になる。  
さあ、一緒にデータのひみつを見てみよう。

しき  
**どんな仕組み？**

せいそう きろく  
**①「清掃の記録」**



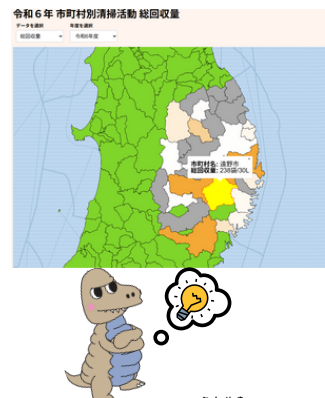
まず“いつ”“どこ”を  
やったかを記録

あつ  
**②「データが集まる」**



“minoru.iwate”という  
サイトに記録されるよ

かんが  
**③「データをもとに考える」**



あつ ふんせき  
集まったデータを分析してこれ  
からのことをみんなで考えるこ  
とが大切なんだよ

みらい か  
**④「未来を変えていこう！」**



みんなの頑張りで町の環境が  
守られ、マイクロプラスチッ  
クを減らすこともできる！

あつ  
**集まったデータとあなたの気づきは、**  
みらい  
**どんな未来をつくれるだろう？**



立場を超えて学び合い、地域に新しい価値を生み出すことで  
 “みんながずっと幸せ”な未来をつくる！

# Co-learningによる価値創造

ソフトウェア情報学部 富澤浩樹  
 株式会社Badass 田中裕也  
 岩手県環境生活部 資源循環推進課

関連SDGs No.12



関連SDGs No.14



関連SDGs No.15



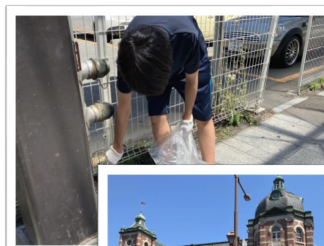
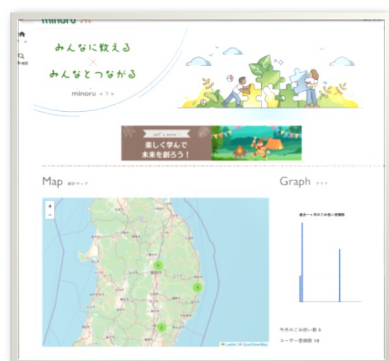
## INTRODUCTION

## ゴミ拾い活動の企画

## METHOD

## システム閲覧・利用検討 団体アカウント発行

## ゴミ拾い活動の実施



例：岩手高校



minoru イワテ

## ポイ捨てゴミ回収量の可視化システム

- ゴミ拾い活動の記録・可視化
- 他団体の活動の様子を閲覧
- MAPで活動地点を表示
- 投稿データの分析可能性
- 活動団体のプロジェクト管理や広報にも利用可能
- 行政DXの一環として
- 環境教育・教材利用の可能性



盛岡市街なかゴミ拾い



## DISCUSSION &amp; CONCLUSION

## 蓄積データの活用

## RESULT

## プロジェクト報告

現在、公開中

ミノルイワテ


<https://minoruiwate.coinext-iwatest.jp/>



# minoruイワテ ポイ捨てゴミ回収量の可視化システム

ソフトウェア情報学部 富澤浩樹  
 株式会社Badass 田中裕也  
 岩手県環境生活部 資源循環推進課

ポイ捨てゴミ対策

マイクロプラスチック問題

地域の清掃活動

データ収集・可視化

## システムの試用（2025年7月から10月）

岩手県内の各団体に対してシステムの利用と評価を条件に謝礼付きで公募を行った。その結果、6つの活動がシステムに登録された。



詳細情報

## 利用団体の声（一部を紹介）

このシステムを利用することで、団体内や地域内での活動の共有や連携が促進されると思いますか？

- ・ 情報共有ができるから
- ・ 「思う」と言いたいところですが、団体的には継続してやっていることなので、このシステムで共有や連携につながるとは現段階では思えません。どう外の人たちに見えるかが見えてこないので、現段階ではそう思わないの回答とさせていただきます。
- ・ 同じような活動をしている団体が同じ地域にいることが確認できる場として、有効なシステムだと思います。

今後もこのシステムを利用したいと思いますか？

- ・ 団体としても活動記録ができる
- ・ 機会があれば、簡単に投稿できるのでやってみたいかと思います。
- ・ これからに期待しているシステムだからです。

このシステムが持つ意義や価値を、あなたの視点から自由にご記入ください。

- ・ 環境問題に対する啓発や情報共有
- ・ このシステムは岩手県内の団体、個人が環境保全活動にどう興味があり、どう実施しているか見えてくると思います。岩手県内で頑張っている人たちがいるということは励みにもなりますし、興味がある人たちに見てもらい、またゴミを捨てる人たちに見てもらい啓発になるという点は大変意義を感じます。
- ・ 岩手県内で実施するゴミ拾い活動が本システムを通じて共有化・見える化することで、岩手県民全体の環境保全意識の向上やゴミの減量、海ゴミ対策へつながる効果を感じます。

例：岩手高校



コメント投稿可能



# minoruイワテ ポイ捨てゴミ回収量の可視化システム

 ソフトウェア情報学部 富澤浩樹  
 株式会社Badass 田中裕也  
 岩手県環境生活部 資源循環推進課

ポイ捨てゴミ対策

マイクロプラスチック問題

地域の清掃活動

データ収集・可視化

学生による試行錯誤（卒業研究の一環として）

※画面は研究開発中のものです

ポイ捨てゴミ・マイクロプラスチック問題のために、2021年度より卒業研究の一環として、minoruイワテを中心とした様々なシステムを試作してきました。一部の成果は報告書、情報処理学会全国大会で発表。試行錯誤の成果は地域実装に活かしています。

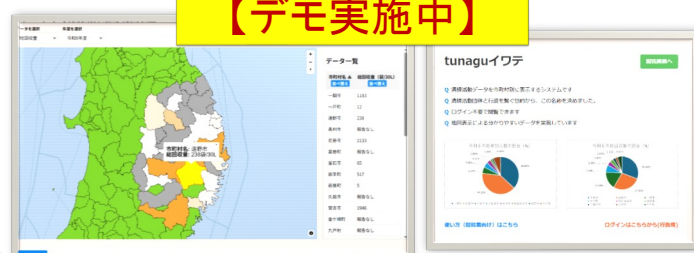
2025年度

※岩手県の市町村ごとにゴミの回収量・活動参加人数を可視化

データ分析×データ連携

地域の清掃活動を可視化するための地図表示システムの開発

【デモ実施中】



ご意見・ご感想をおきかせ下さい

分析

minoruイワテ

追加開発・機能追加が容易なシステムとして開発

+データ連携

+データ分析

+機能拡張

+健康増進

投稿

投稿

2024年度

清掃活動の軌跡情報  
×データ投稿

清掃活動の経路情報共有を目的としたマッピングシステムの開発

2022年度

お散歩×データ投稿



地域住民を対象とした環境モニタリングデータ投稿システムの開発

2021年度

ウォークラリー×データ投稿



漂着ゴミの実態把握を目的としたウォークラリーアプリの開発

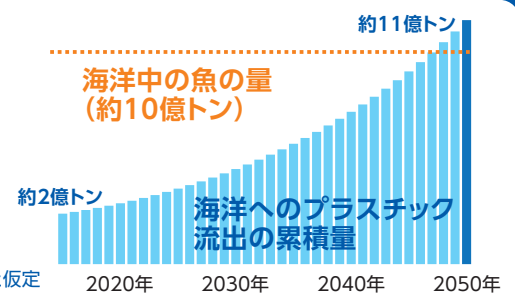
# 漁業者のみなさまへ、ご協力をお願いします

## 漁具等の資材を適正に管理し、 海への流出を防止しましょう！



**2050年には、海洋中に存在するプラスチックの量は、重量ベースで魚の量を超えると推定されています。**

- プラスチックの生産量が、毎年5%増加すると仮定
- 生産量(2015年は3.22億トン)の約3%が海に流出と仮定



### プラスチックごみが増えると・・・

#### 船舶航行への障害

漂流するビニールが、船舶の取水口を塞ぎ、**エンジントラブル**が生じる恐れがあります。



#### 漁業への影響

漂流するプラスチックごみが、**漁網に引っかかって**作業を妨げるなどの被害の恐れがあります。





今後も豊かな漁場を守るために・・・

## 漁具の流出防止、 適正使用・適正処理に取り組みましょう！

**大雨や台風の前**は、  
漁具が飛散・流出しない  
よう、**しっかりと固定**する  
か、**倉庫などに収納**しま  
しょう。



使用中の漁具の海洋  
流出を防止するため、  
**操業前後の点検**を行  
い  
ましょう。



漁網



発泡スチロール製  
フロート

**船の上から**、レジ袋や  
ペットボトル、使用済み  
漁具などの**ポイ捨て**は  
**やめ**ましょう。



漁具としての使用が  
想定されていないプラ  
スチック製品の漁具への  
**流用**や、漁具の**不適切な  
使用**はやめましょう。

(例：洗剤容器の浮標とし  
ての使用など。)

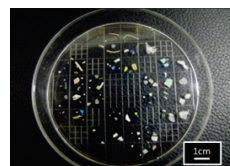


海洋に流出したプラスチックは、やがて**マイクロプラスチック**に  
なります

海に流れ着いたプラスチックごみは、紫外線や波の影響で  
**劣化・破碎**を繰り返しながら、**細かいプラスチック片**になります。

こうなると、**海での回収はほぼ不可能**になってしまいます。

**海洋生態系への影響**も懸念されており、世界的な課題となっています。



漁業系廃棄物は事業者自らの責任において適正に処理しましょう。

※海上に廃棄物を捨てる行為は法律で禁止されています。※

## 海岸漂着物対策の今後の取組方針について

第2期計画に掲げる基本方針	令和8年度取組方針
1 海岸漂着物等の円滑な処理	岩手県海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金（継続）※右図⑥に対応 ⇒ <u>未活用市町村に対し積極的な活用を呼びかけ。</u>
2 海岸漂着物等の効果的な発生抑制	海洋プラスチックごみの実態調査（継続）※右図⑥に対応 ⇒ 環境保健研究センターと連携し、実態が把握されていない海洋中のプラスチックの状況を調査する。 漁業者向け普及啓発 ※右図④、⑥に対応 ⇒ チラシ配布、先進地の取組に係る情報共有等により漁業者向け普及啓発を推進。 飲食店や小売店舗におけるプラスチック削減の取組促進 ※右図①に対応 ⇒ いわてプラごみ削減協力店のPR強化
3 環境学習・一般に向けた普及啓発	小学生向け海洋ごみ啓発パンフレットのタブレット端末用データ配布 ※右図①、③、④、⑤に対応 3Rポスターコンクール（海ごみ部門）の実施 ※右図①、③、④、⑤に対応
4 多様な主体の適切な役割分担と連携確保	漁業者の協力による海洋ごみ回収事業の漁協への呼びかけ ※右図⑥に対応 屋外に保管するプラスチック製品の管理徹底を各事業者へ呼びかけ ※右図②に対応 内陸部を含めた市町村における清掃活動の推進 ※右図③、④、⑤に対応 製品プラスチックの県内リサイクルの促進 ※右図①に対応

